

# シビックマット (斜面安定工事用ブロックマット)

NNTD 1166 NETIS掲載終了  
CB-030077-V

シビックマットは、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」のC表のブロックマットに適合する製品です。設計流速は、4m/sまで適応可能です。

## ●特長

### 1.スピーディーな施工

ブロックとフィルターシートを一体化し、専用吊り具の使用で、迅速な施工が可能です。

### 2.安全性

環境ホルモンの危険性を回避するためにシートとブロックの固定に接着剤は使用しておりません。



## ■「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に記載された留意事項

- 適用できる設計最大流速は4m/sである。
- のり面勾配が1:1.5より緩い場所に適用する。
- めくれ対策を確実にし、特に上下流端部のすり付け部の処理を確実にし行う。
- 寄せ石や覆土を行い、植生の復元をはかる。
- 背後に住宅や重要施設がない場所に適用。

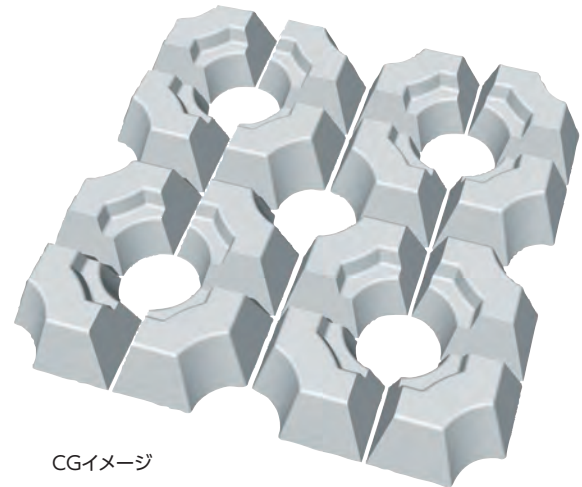
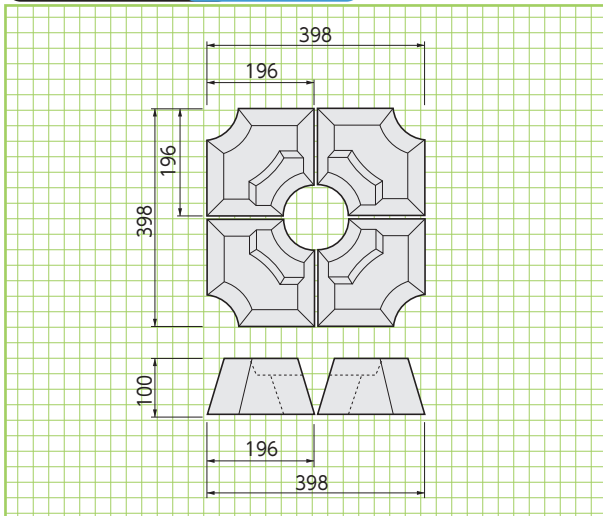
## ■対応勾配

1:2.0より緩い勾配

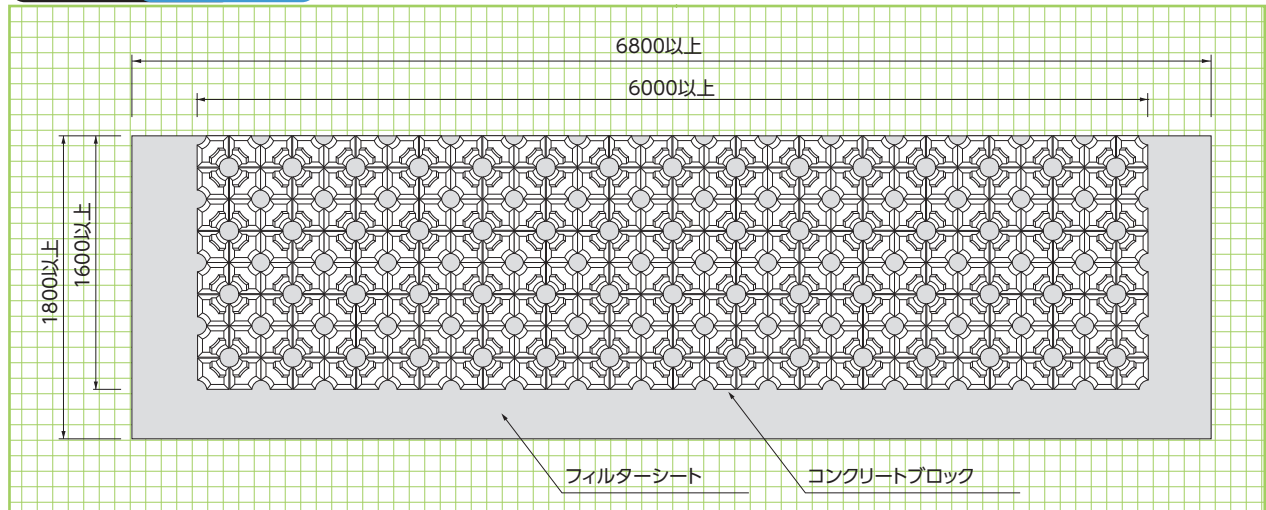


## 基本形状図

### ブロック寸法 L-CVMAT-004



### 製品規格 L-CVMAT-004



# セレクトンW型

## セレクトンW型

### ●特長

1. ブロックコーナー部をオリジナル金具により緊結するため、堅固な法面保護が可能です。

### ■用途

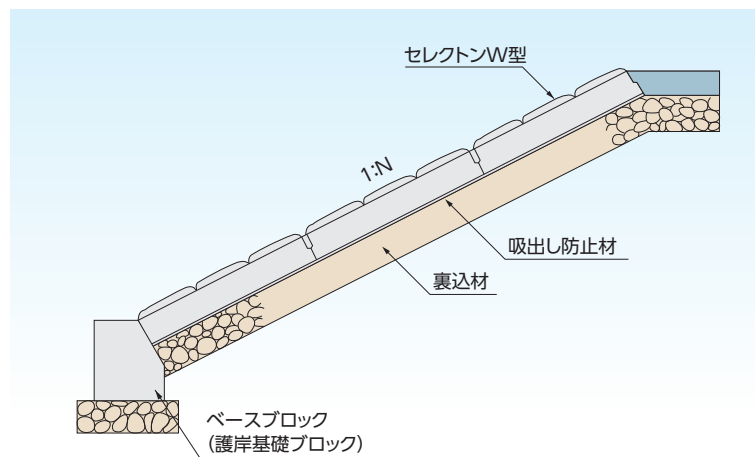
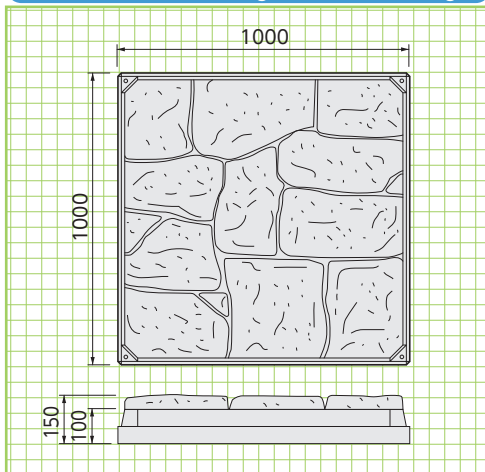
1. 護岸・道路の緩斜面の法覆工

### ■対応勾配

1:1.0より緩い勾配



参考重量: 割石タイプ=285kg、一枚岩タイプ=300kg



基本形状図

形状・寸法  
重量

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

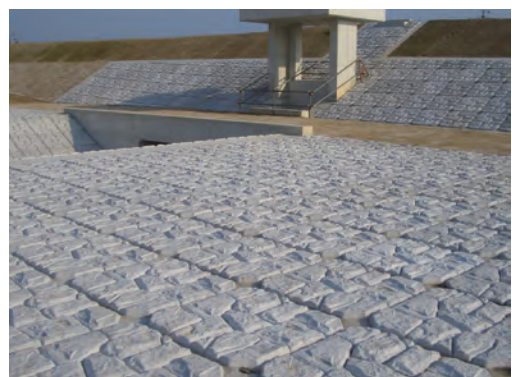
河川関連

基礎類

貯水槽関連

景観関連

その他



# GFO大型張ブロック〈緩傾斜護岸製品〉

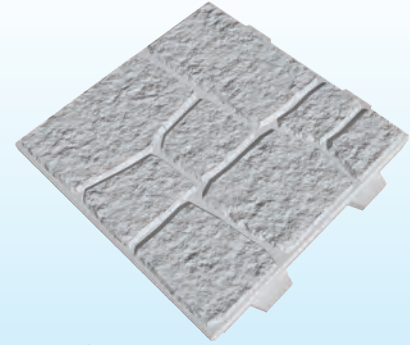
## ●特長

- 1個/m<sup>2</sup>の大型ブロックで、工期の短縮と作業の省力化が図れます。
- 表面の擬石模様は、自然石をイメージし景観に調和したデザインです。
- ブロックは噛み合わせにより目地処理がなされるため、従来の法覆ブロック工法と比較して施工性が向上しています。

## ■用途

護岸工・緩傾斜法覆工法・法面保護工

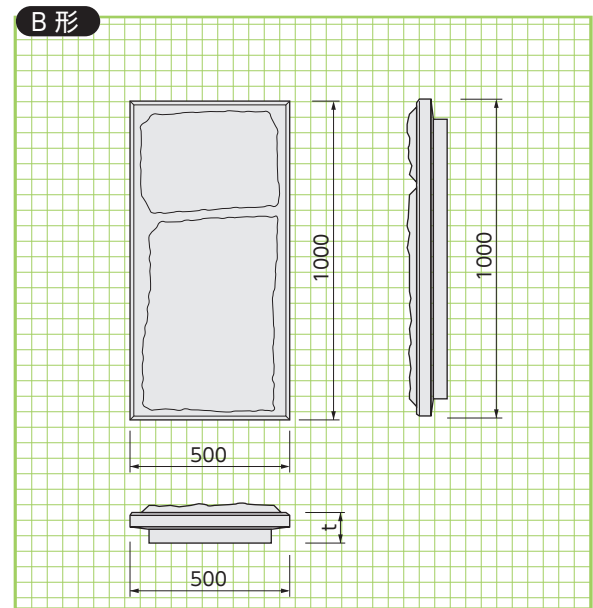
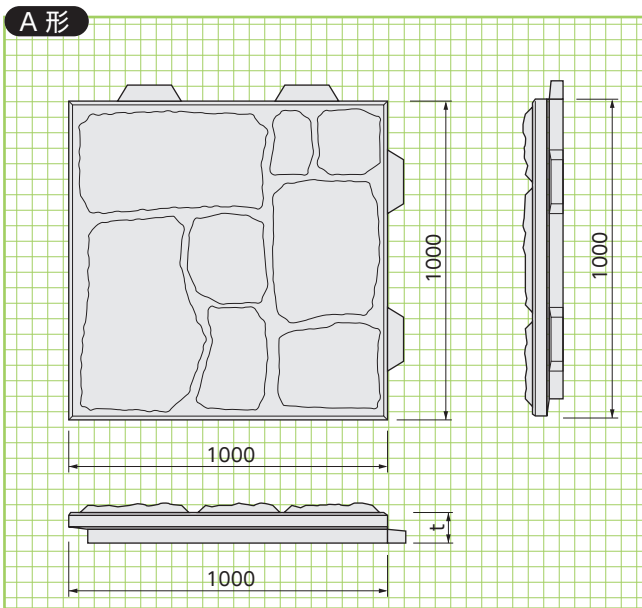
平均明度  
**5.5**  
※顔料なし



CGイメージ

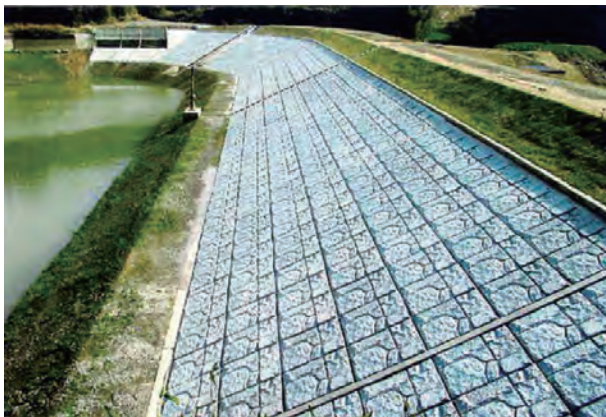
## 基本形状図

形状・寸法  
重量



## ■寸法・重量表

呼称	主要部寸法 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
A形 t=100	1000×1000×130	0.1096	246	1.0
B形 t=100	1000× 500×130	0.0543	105	-
A形 t=120	1000×1000×150	0.1248	287	1.0
B形 t=120	1000× 500×150	0.0635	146	-





# ストーンサークル〈法覆用ブロック〉

自然に調和し施工が容易な法覆用ブロックです。

## ●特長

1. ブロックは互いに連結され、目地処理がなされるため、従来の法覆ブロックに比較し、法面工法としての強度がさらに向上します。
2. 使用個数が1個/m<sup>2</sup>と少なく、連結方法が簡単なので速やかな施工ができます。
3. 擬石模様の面体は、周囲の景観によく調和します。

■用途 河川・ダム・遊水池等の護岸工事。道路・鉄道等の法面保護工事。観光地・公園等の修景法面工事。

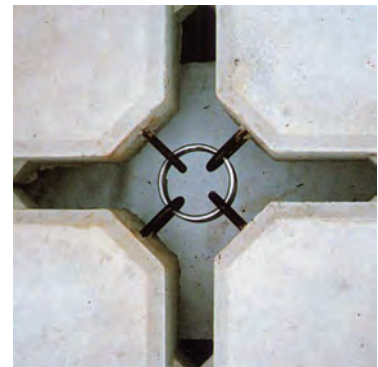
■対応勾配 1:1.5より緩い勾配



## ■寸法・重量表

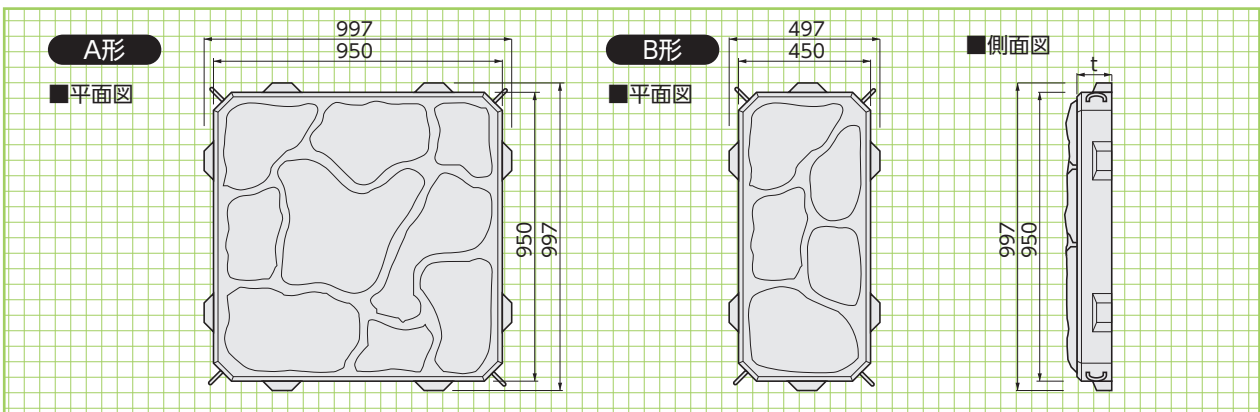
呼称	区分	t (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)	充填コンクリート (m <sup>3</sup> /個)	1m <sup>2</sup> 当り重量 (kg)
250型	A形	100	0.1027	236	0.0078	254
	B形	100	0.0482	110	0.0059	-
300型	A形	120	0.1207	277	0.0099	300
	B形	120	0.0566	130	0.0075	-
320型	A形	130	0.1296	298	0.0109	323
	B形	130	0.0608	139	0.0083	-
340型	A形	140	0.1386	318	0.0120	346
	B形	140	0.0650	149	0.0091	-
360型	A形	150	0.1475	339	0.0130	369
	B形	150	0.0692	159	0.0099	-
400型	A形	170	0.1655	380	0.0151	415
	B形	170	0.0776	178	0.0115	-
800型	A形	350	0.3500	805	0.0128	834
	B形	350	0.1700	384	0.0128	-

## ■接続部

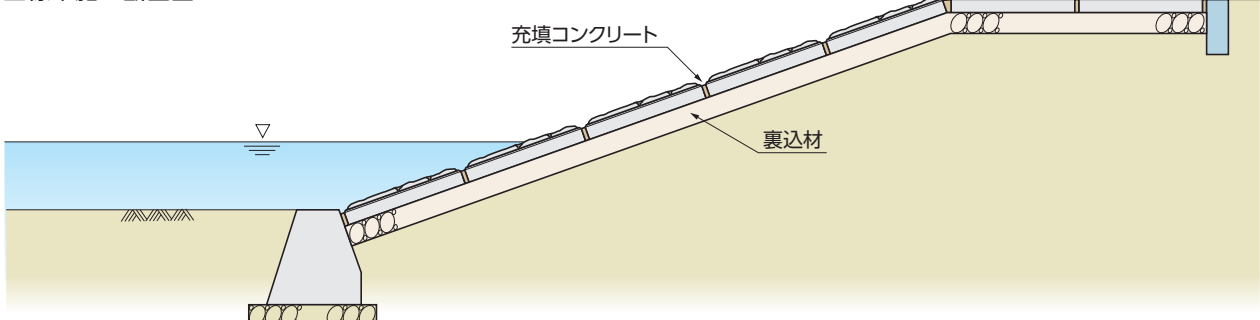


擬石タイプ  
基本形状図

形状・寸法  
重量



## ■標準施工断面図



標準断面図

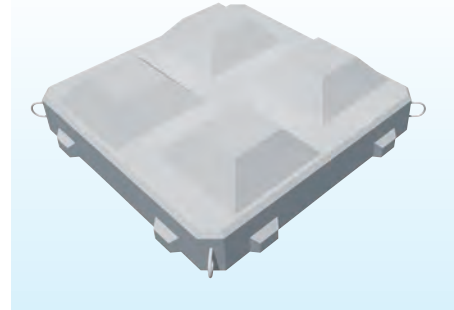
# ターブロックⅡ 水理特性値証明取得製品 (覆土ブロック)

NETIS掲載終了 宮崎県  
CB-070009-VE 新技術

覆土・植生により、自然環境を保全・復元します。

## ●特長

1. ブロック相互の合端間で被覆土と地盤が連続しているため、水分が補給される等、植物の生育を助けます。
2. ブロックが大型で、使用個数が1個/m<sup>2</sup>と少なく、また方向性がないため速やかな施工ができます。
3. ブロックの凸部は被覆土の滑り出しを抑制し、流速低減にも有効に作用します。
4. ブロックは、適度な屈撓性を持ち地盤の変化に対応できます。



## ■用途

河川・ダム・遊水池等の護岸工事。

## ■対応勾配

1:1.5より緩い勾配

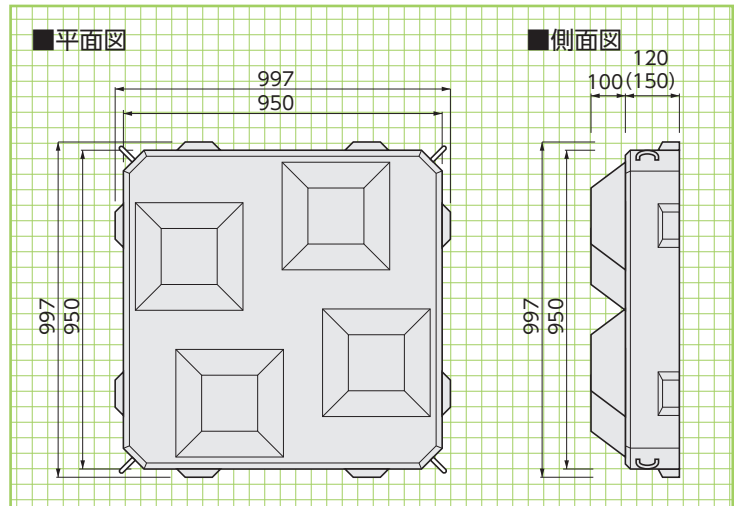
## 基本形状図

形状・寸法  
重量

## ■施工直後



## ■施工後3ヶ月



※( )内は360型です。

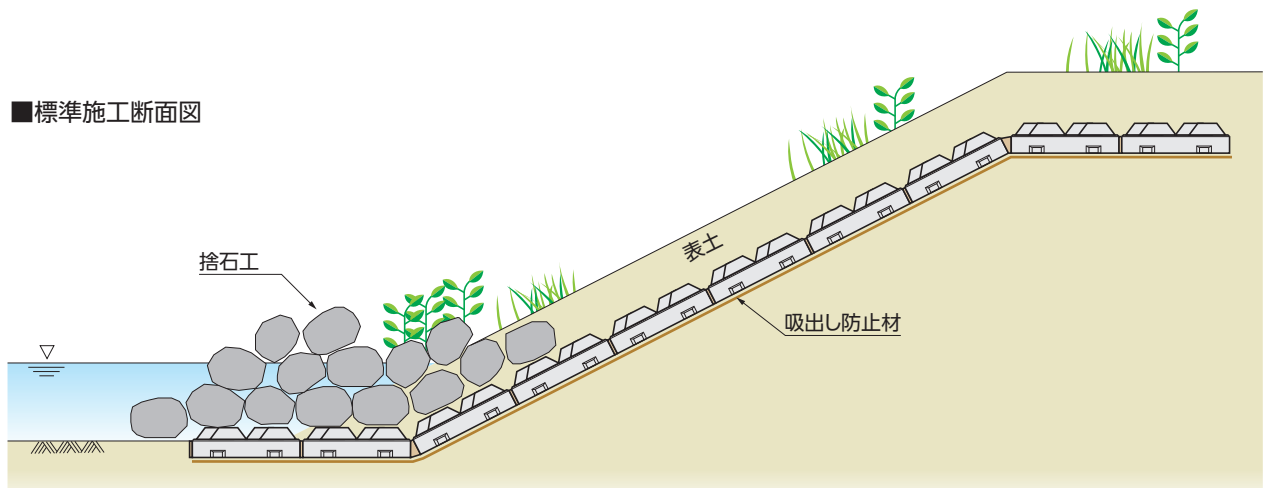
## ■重量表

呼称	体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)
300型	0.1328	305
360型	0.1597	367

※260型もあります。

## 標準断面図

## ■標準施工断面図

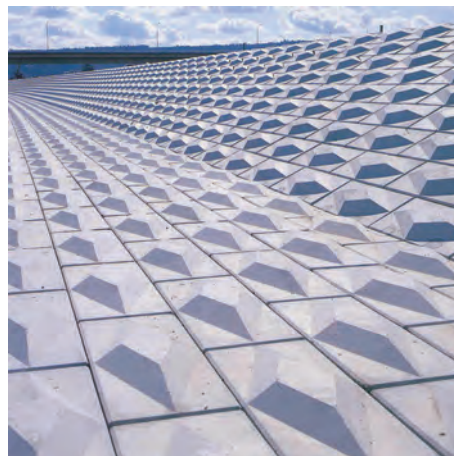


# ▶ ダイヤカットⅡ型【大型連節ブロック】 (緩傾斜護岸製品)

NETIS掲載終了  
CB-070009-VE

## ● 特長

1. 地盤の変化に対応して、適度の屈とう性を有しています。
2. 製品の凸部は、流速低減の粗度としても有効に働きます。
3. 製品単体は、重量が十分にあり連結線によりマット状に一体化されるため流体力に対して安定します。



側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

貯水槽関連

景観関連

その他

基本形状図

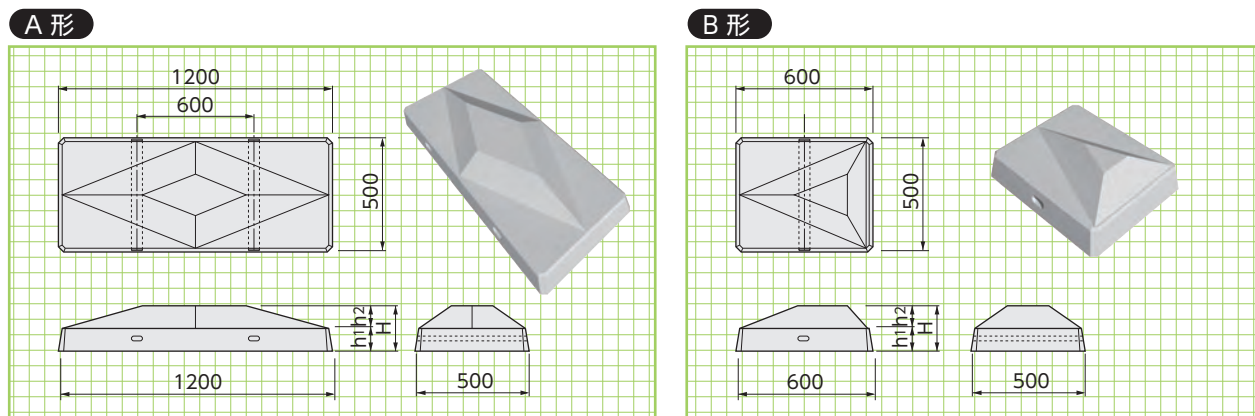
標準施工  
断面図

## ■ 用途

災害復旧・河川・ダム・遊水池等の護岸

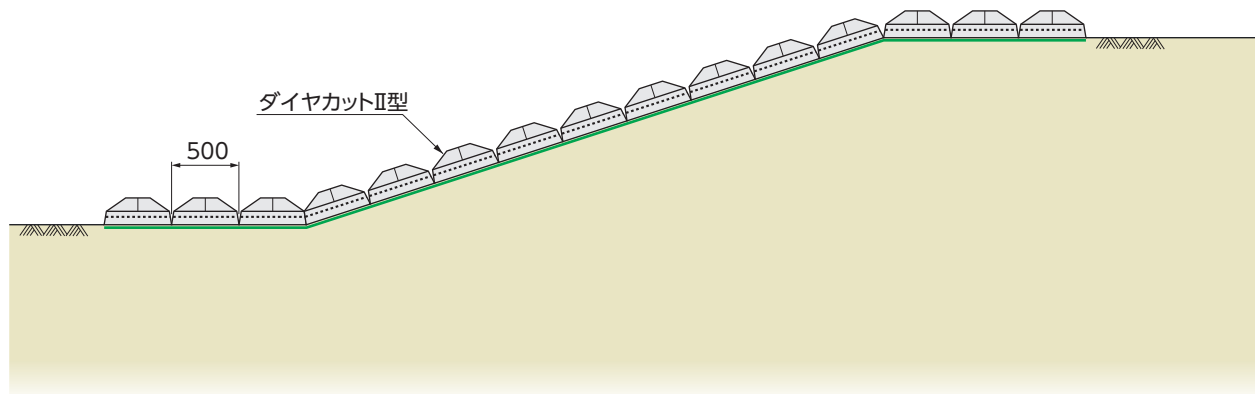
## ■ 対応勾配

1:1.5より緩い勾配



## ■ 寸法・重量表

呼称	寸法(mm)			主要部寸法 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)	敷設重量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	H					
A形 300型	120	80	200	1200×500×200	0.0823	189	314	1.667
A形 350型	130	120	250	1200×500×250	0.0946	217	361	1.667
B形 300型	120	80	200	600×500×200	0.0389	89	-	-
B形 350型	130	120	250	600×500×250	0.0444	102	-	-



# テトラックPG 〈河川緑化護岸ブロック工法〉



NETIS掲載終了  
SK-980031-V



II型  
(III型のみ)



## ●特長

### 1. 目的に合わせて2種類のブロックを用意

使用場所・目的に合わせてブロック表面側を普通コンクリート(以下RC)、裏面側をポーラスエコロジカルコンクリート(以下PEC)にした2層構造ブロックと、全てPECを使った単層構造の2種類があり、それぞれI・II・III型(注)の3タイプをお選びいただけます。

### 2. 透水性に優れ、植物の根系が生育しやすい

RC部は植栽穴の保護、連結穴の強化を目的とし、PEC部は透水・通気性向上、根の成長、微生物の育成を目的としています。

### 3. 対応勾配は、1:1.0~3.0程度です

### 4. 根茎の伸長による、地盤との一体化が図れる

植栽により根茎が容易に背面内地山まで伸長し、その地域に合った自然を創出します。

### 5. 植栽面積は、ブロック1個(1m<sup>2</sup>)当たり0.5m<sup>2</sup>です



## 基本形状図

### ■数量表

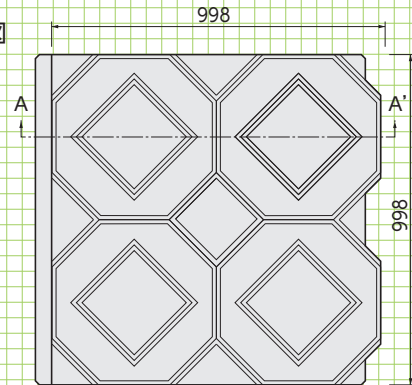
規格	II型	III型
外形寸法 (mm)	998×998×220	998×998×160
厚さ (mm)	220	160
ブロック体積 (m <sup>3</sup> )	0.186	0.127
連続空隙率 (%)	18以上	18以上
参考質量 (kg)	344	235
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	18以上	18以上
客土 (m <sup>3</sup> )	0.032	0.032

### II型



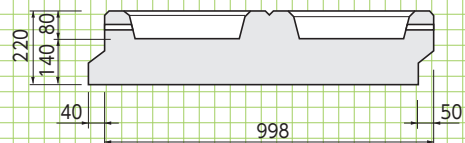
### II型・III型

#### ■平面図



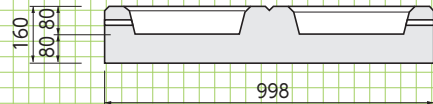
#### II型 参考重量:344kg

#### ■A-A'断面図(II型)

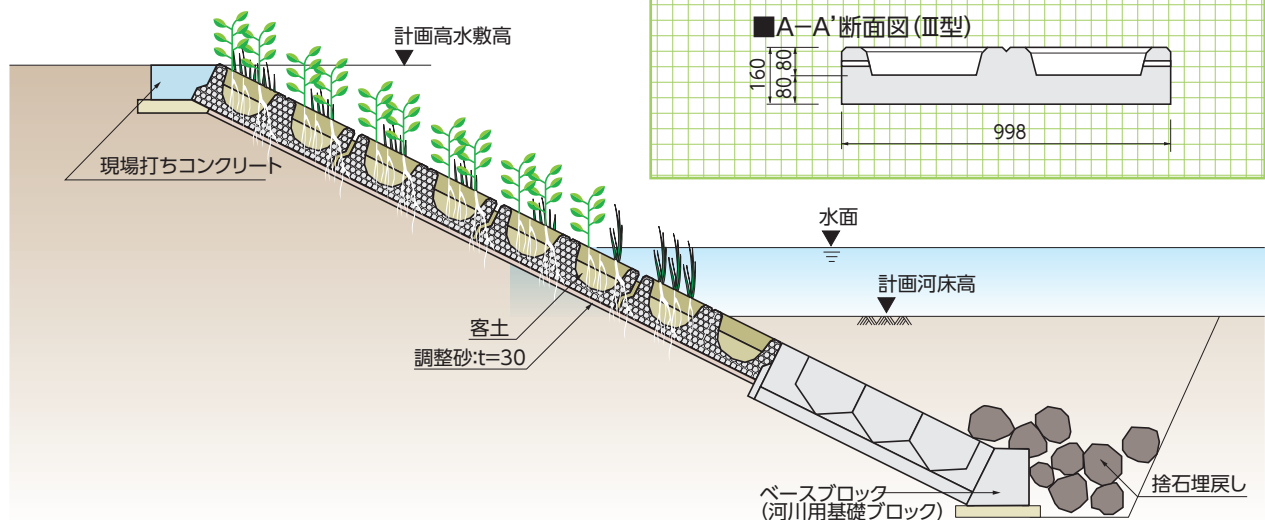


#### III型 参考重量:235kg

#### ■A-A'断面図(III型)



## 標準敷設図





# SEA BLOCK (シーブロック)

公益社団法人  
全国土木コンクリートブロック協会準拠型

## 透過型構造の被覆工ブロック

### ●特長

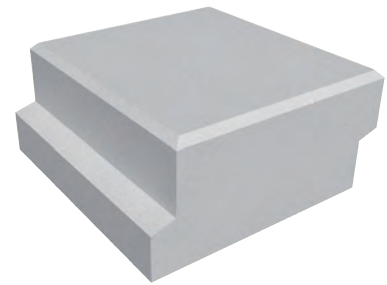
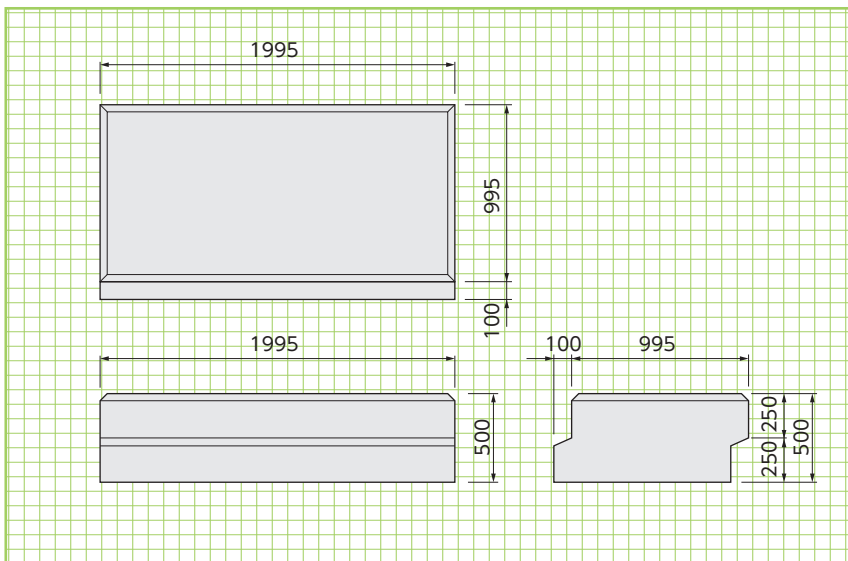
1. ブロック単体で厚さ50cm、2t以上の重量を有します。
2. 透過型構造の裏法被覆工に過しています。
3. ブロック上下流端に切り欠きを設けたブロックをかみ合わせることに  
よって、ブロックの流失に対する抵抗力を高めています。



### 粘り強い構造(国総研より)

項目	内容
厚さ	厚さ総厚さは0.5m以上であること。
質量	質量固体質量は2.0t以上であること。
形状	上端と下端に切り欠きを設けた、 <b>かみ合わせ形状を有すること。</b> <かみ合わせの効果> <b>ブロックの不陸発生を抑制し、流体による不安定化の閾値(しきい値)を上げることで、被覆工に関する粘り強さを向上させる。</b>
透気性	津波越流時に上昇する堤体内空気圧(揚圧力)を排出できる透気性を有すること。(天端・裏法被覆の場合)

### SEA BLOCK(I) 標準タイプ 参考重量=2265kg



この他のタイプもご用意しております。  
詳しくは営業担当にご相談ください。

基本形状図

形状・寸法  
重量

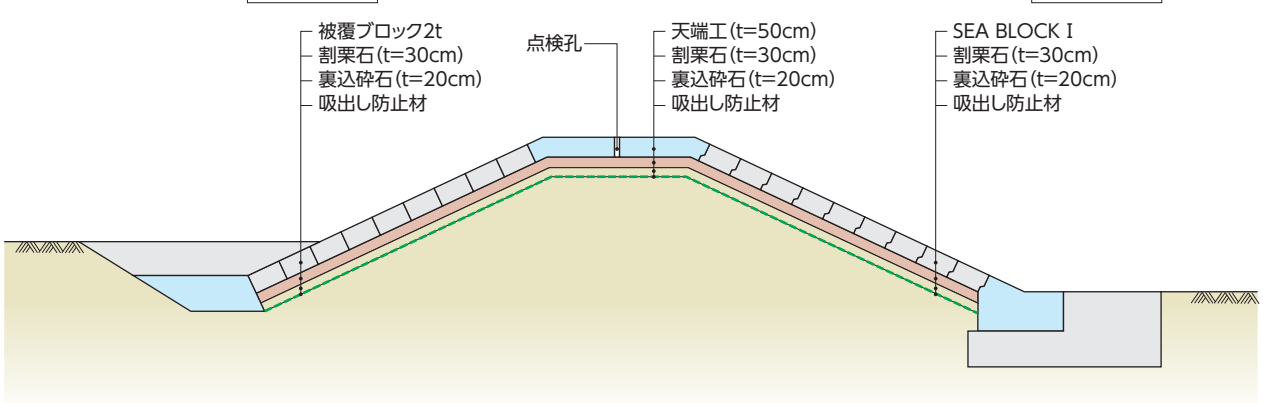
基礎類

貯水槽関連

景観関連

### 海側・川表側

### 陸側・川裏側



標準施工  
断面図

その他

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

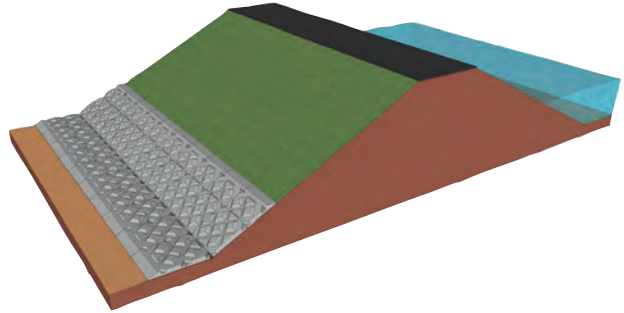


# テトラック法尻ブロック 〈危機管理型ハード対策「法尻の補強」〉

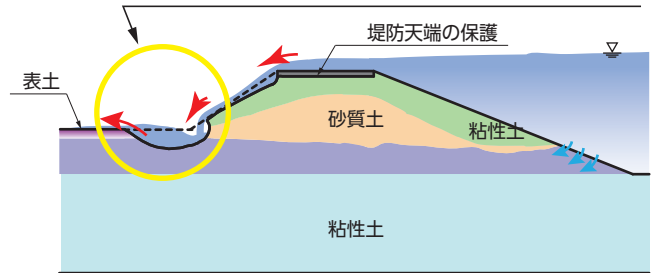
NETIS登録  
SK-170013-A

## ●特長

- 1.土堤防上に設置する場合、突起部以外を堤防内に設置する場合、また用地境界の位置に対応した断面が可能です。
- 2.亜鉛-アルミニウム合金メッキ鉄線(φ8mm)により法面および平場部を格子状に連結させることで、フレキシブルな群体構造としております。
- 3.上端部および平場部端部にすり付ブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。
- 4.透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、砕石層および水抜き穴は必要ありません。
- 5.堤防法尻基礎ブロックやすり付ブロックを使用することで、現場打ちコンクリート打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。
- 6.表面は菱形突起(8cm・5cm)とし、越流水の流速を低減することができます。

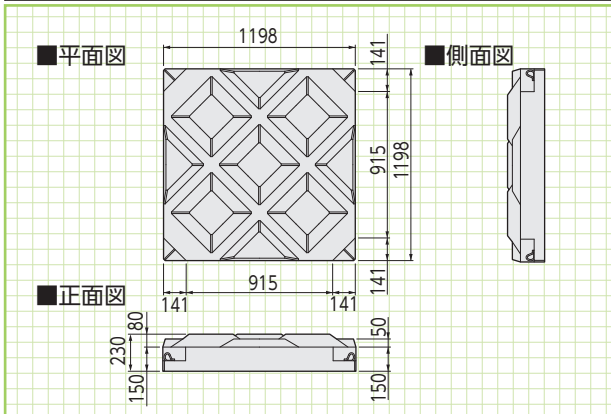


裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

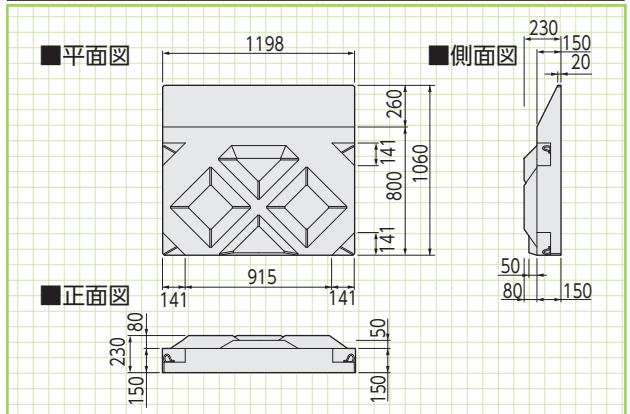


基本形状図

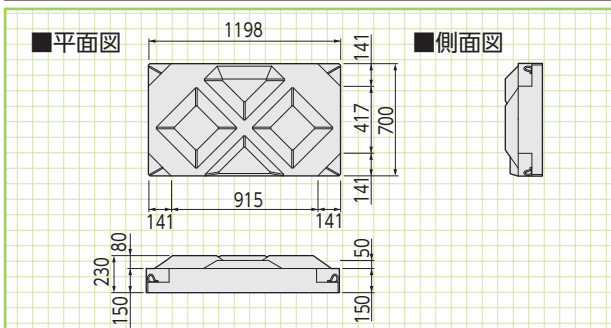
標準ブロック(コンクリート体積:0.253m<sup>3</sup> 参考重量:506kg)



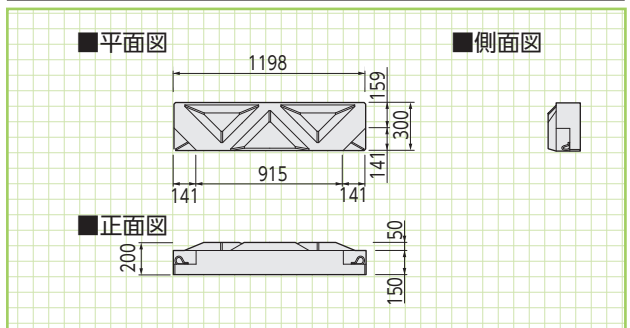
すり付けブロック(コンクリート体積:0.187m<sup>3</sup> 参考重量:374kg)



平場Aブロック(コンクリート体積:0.142m<sup>3</sup> 参考重量:284kg)

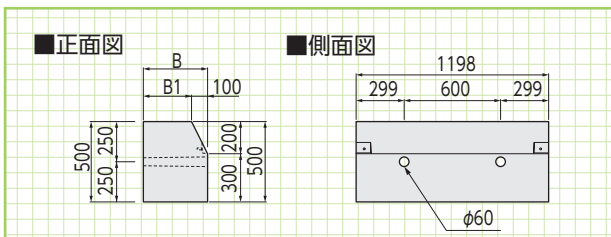


平場Bブロック(コンクリート体積:0.0058m<sup>3</sup> 参考重量:116kg)



基本形状図

基礎ブロック



■寸法・重量表

呼称	寸法(mm)		体積(m <sup>3</sup> )	参考重量(kg)
	B	B1		
400型	400	300	0.225	483
500型	500	400	0.285	612

# IFパラペット <プレキャストL型パラペットブロック>

河川堤防などに用いられる特殊堤(胸壁)として設置することができます。

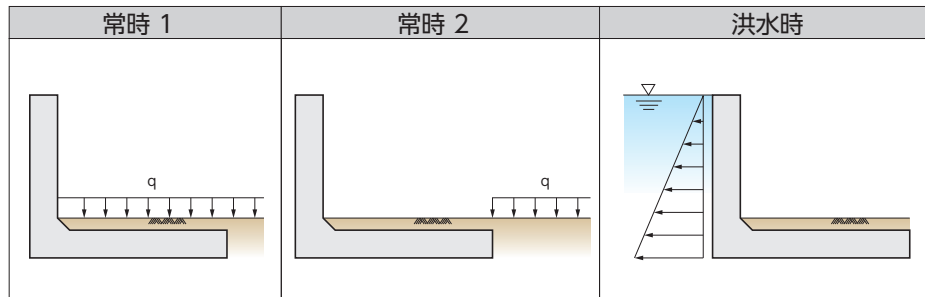
## ●特長

1. 堤防の天端に設置することで洪水対策が図れます。
2. 型枠の組立、撤去、コンクリート打設、養生作業が不要なため、大幅な工期短縮が図れます。
3. 陸側で作業ができるため、施工の安全性が向上します。

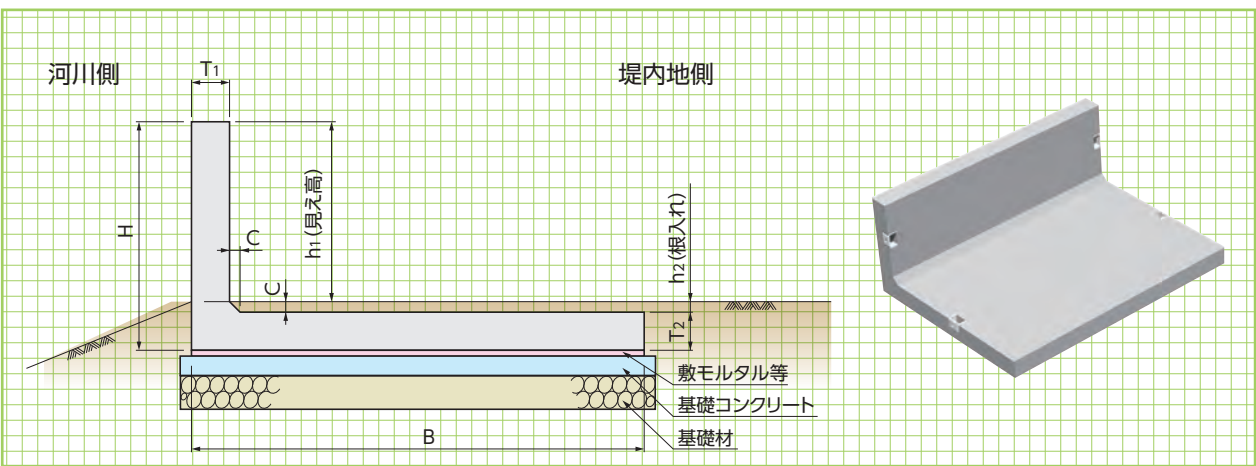


▲参考イメージ

※現場条件に合わせて設計いたします。  
詳細については営業担当にお問い合わせください。



設計条件



基本形状図

## ■寸法・重量表

呼称 (H)	寸法(mm)							参考重量 (kg)
	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	B	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	C	L	
400	200	50	400	150	150	50	2000	474
450	250	50	500	150	150	50	2000	582
500	300	50	600	150	150	50	2000	690
550	350	50	700	150	150	50	2000	798
600	400	50	850	150	150	50	2000	942
650	450	50	1000	150	150	50	2000	1086
700	500	50	1150	150	150	50	2000	1230
750	550	50	1300	150	150	50	2000	1374
800	600	50	1500	150	150	50	2000	1554
850	650	50	1700	150	150	50	2000	1734
900	700	50	1900	150	150	50	2000	1914
950	750	50	2100	150	150	50	2000	2094
1000	800	50	2350	150	150	50	2000	2310

# カメレオン (環境保全型張ブロック)

NETIS掲載終了  
QS-980106 宮崎県  
新技術

## ●特長

カメレオンは、水辺をより災害に強く、美しい自然に修復する多自然護岸です。ヒンジ結合したコンクリート網、吸出防止材、中詰土の3つを複合させることにより、水辺の土壌を保持し、自然の生態系を維持・復元します。

### 1. 流れに強いヒンジ結合

独自のオーバーラップヒンジ構造によるスクラム効果は、強い噛み合わせで耐久性に優れた護岸になります。

### 2. 大地の曲面にフィットするしなやかさ

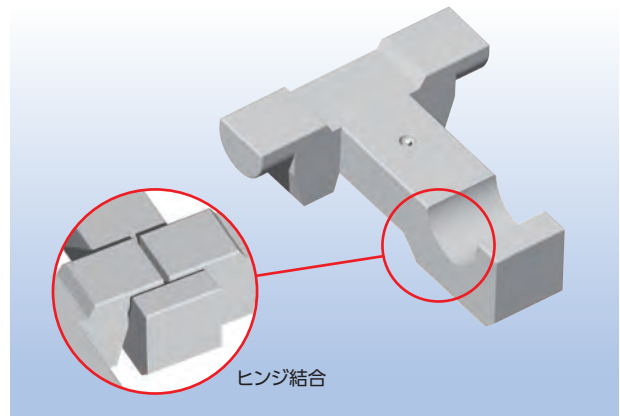
ブロックのヒンジ結合面が円形になっているため、連結した資材は大地の局面にしなやかになじみます。地盤変形に対しても柔軟性があります。

### 3. 施工をスムーズにするブロックの構造

連結金具が不要。ブロックのヒンジ部をオーバーラップしながら据付する簡単な構造です、吊り金具の脱着も容易で施工性に優れています。

### 4. ブロック間空隙を生かした緑の再生

ブロックの空隙に現場発生土を詰めることにより、従来の植生が繁茂し、植物遷移を阻害せず自然本来の姿である水辺空間が再生されます。



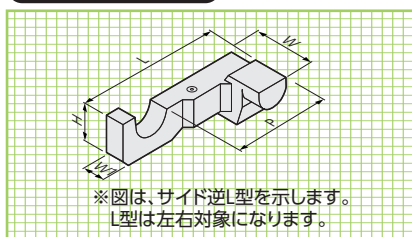
## 基本形状図

形状・寸法  
重量

### 標準型

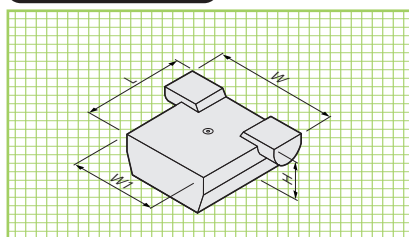
規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
形状 (cm)				
空隙率	47%	56%	63%	56%
体積	0.211m <sup>3</sup>	0.122m <sup>3</sup>	0.073m <sup>3</sup>	0.089m <sup>3</sup>
1個当り重量	485kg	280kg	168kg	200kg
1m <sup>2</sup> 当り重量	600kg	350kg	200kg	250kg

### サイドL型・逆L型



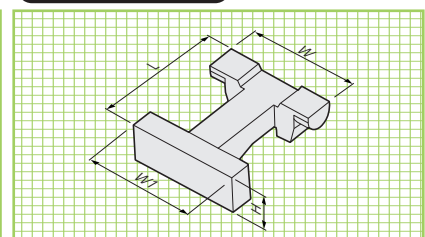
規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
L (cm)	128	115	110	110
H (cm)	50	35	25	25
W (cm)	50	50	50	45
W1 (cm)	15	15	15	20
P (cm)	76	76	76	76
体積(m <sup>3</sup> )	0.123	0.068	0.046	0.050
重量(kg)	283	156	106	115

### エンド



規格	T-50	T-35	T-25	T-25(重量)
L (cm)	70	75	75	75
H (cm)	50	35	25	25
W (cm)	100	100	100	90
W1 (cm)	71	70	70	60
体積(m <sup>3</sup> )	0.232	0.166	0.121	0.111
重量(kg)	533	382	278	255

### L型



規格	T-35	T-25
L (cm)	65~140	65~140
H (cm)	35	25
W (cm)	90~115	90~120
W1 (cm)	90~100	90~120
体積(m <sup>3</sup> )	0.153~0.221	0.112~0.169
重量(kg)	350~500	250~380

※表の体積・重量はW・W1が100cmの場合



## ドライ施工

仮締切工により  
水替を行う護岸工法

複雑な地形になじみ、水辺の自然を保護。  
施工もスムーズです。

「カメレオン」は従来型のコンクリートで水辺を密封してしまう護岸とはちがひ。コンクリート網で大地をしなやかにつつみながら、生態系も守れる護岸工法です。仮締切工により水替工を行うドライ施工でも、機能的な形状により、これまでの護岸工事よりも施工がスムーズになりました。

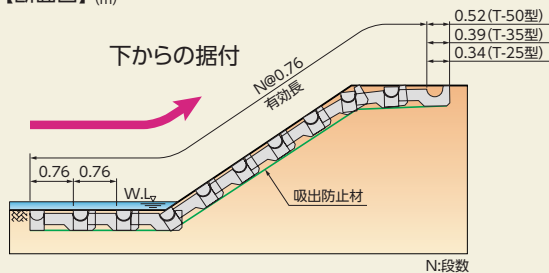


ブロックを単体で施工します。

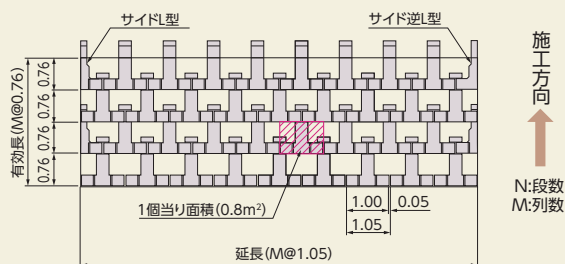
### 据付方式

仮締切工により水替を行い、法尻側から法肩に向かって下からの据付になります。

【断面図】(m)



【平面図】(m)



## 水中施工

仮締切の不要な  
水中施工を実現

ダイレクトな水中施工が  
全体工事費の削減を可能にしました。

従来は、ドライ施工が一般的でしたが河川によっては仮締切等で費用がかかるケースもあります。カメレオンの開発は、仮締切や水替のいらぬ「水中施工」による新しい護岸工法を可能にしました。

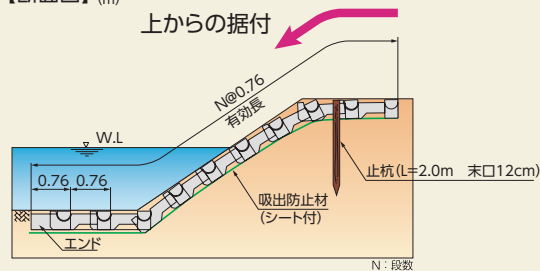


シート付ブロック6個を群体施工します。

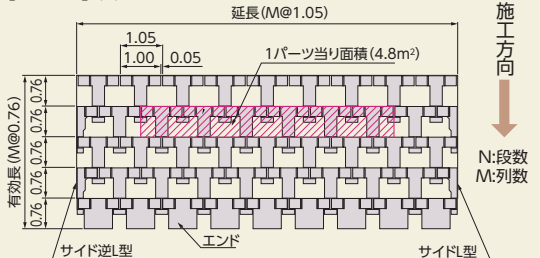
### 据付方式

法尻側から法肩に向かって上からの据付になります。法肩ブロックの止杭は、施工時の安全性と据付精度を高めるための物で、護岸構造計算とは無関係です。法尻端部には重量のあるエンドを使用し、安定性を確保します。

【断面図】(m)



【平面図】(m)



# レグストーン〈環境保全型ブロック:水平積み〉



平均明度  
4.5

輝度の標準偏差  
15

## ●特長

### 1. 植物、生物にやさしい環境を提供

壁体内部の胴込め土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂で、植物が繁茂できる場所と昆虫等が生息できる場所を提供できます。縦方向に連続した胴込め土砂は、毛細管現象によって高い保水力を発揮、植物の繁茂がより期待できます。

### 2. 練積構造

法勾配1:0.5に適合。縦方向に連続した胴込めコンクリートにより一体化した練積み構造ブロックです。

### 3. 施工性

水平積み(1:0.5)で大型化(1㎡当り2個使用)されているため、施工性に優れています。ブロックはイモ積みが基本ですが、現場条件によっては千鳥積みも可能です。

### 4. 明度

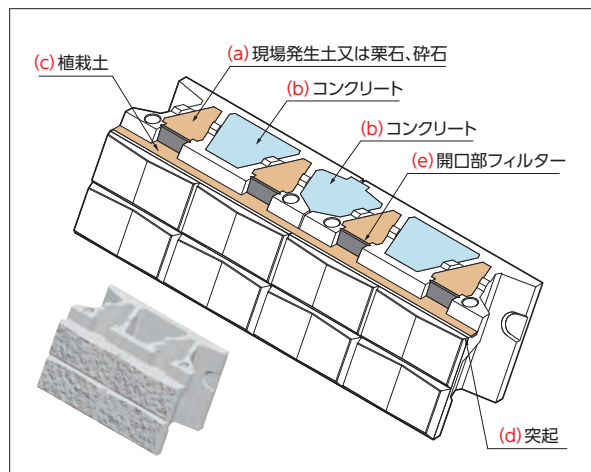
ブロック表面の石目模様を更に特殊形状とし、周辺の明度に配慮した製品になっています。



## ■用途

ブロックを下図に示すように組積みし、壁体内部に形成されるブロック中空部(a)に植栽土を、また、ブロック相互の中空部(b)にコンクリートを充填します。

(c)部に盛られた植栽土は、突起(d)により流失が防げます。また、開口(e)部には中詰め土砂の流失を防ぐため、フィルター等をセットします。



## 標準断面図

### ■胴込材の選定例

#### 1. 河川に使用する場合

常時水中にある部分及び流水の影響を受ける部分までは、割栗石または砕石を使用します。

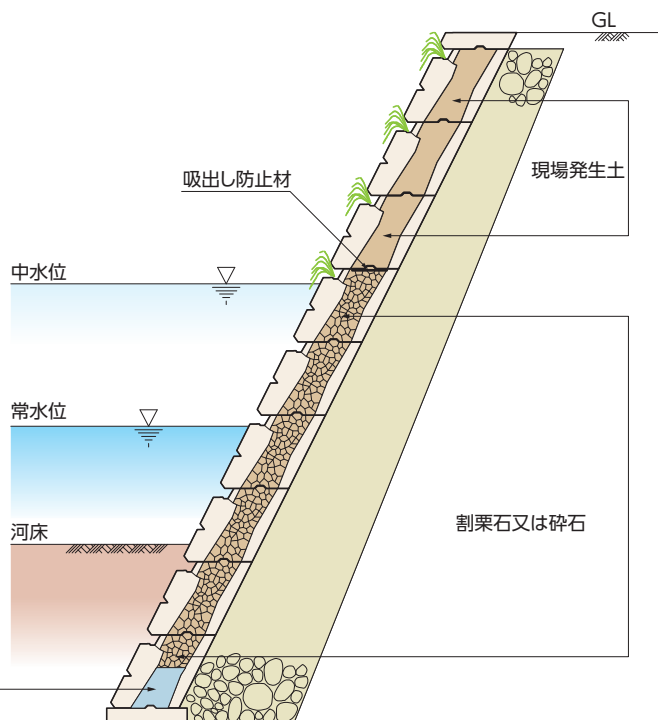
#### 2. 道路・公園等に使用する場合

植生効果を促進する必要がある場合には、すべて植生土を使用します。植生土は現場発生土を使用することも可能です。

### ■安定検討について

レグストーンは、1㎡当たりの壁体重量が控長35cmのコンクリート積ブロックとほぼ同等のため、設計はブロック積擁壁に準じて行います。

※最下段ブロックには、基礎工との一体化を図るため胴込め材を入れる部分にも、コンクリートを半分の高さ程度充填してください。



基本形状図

形状・寸法  
重量

側溝  
関連

道路  
関連

管渠  
類

擁壁  
類

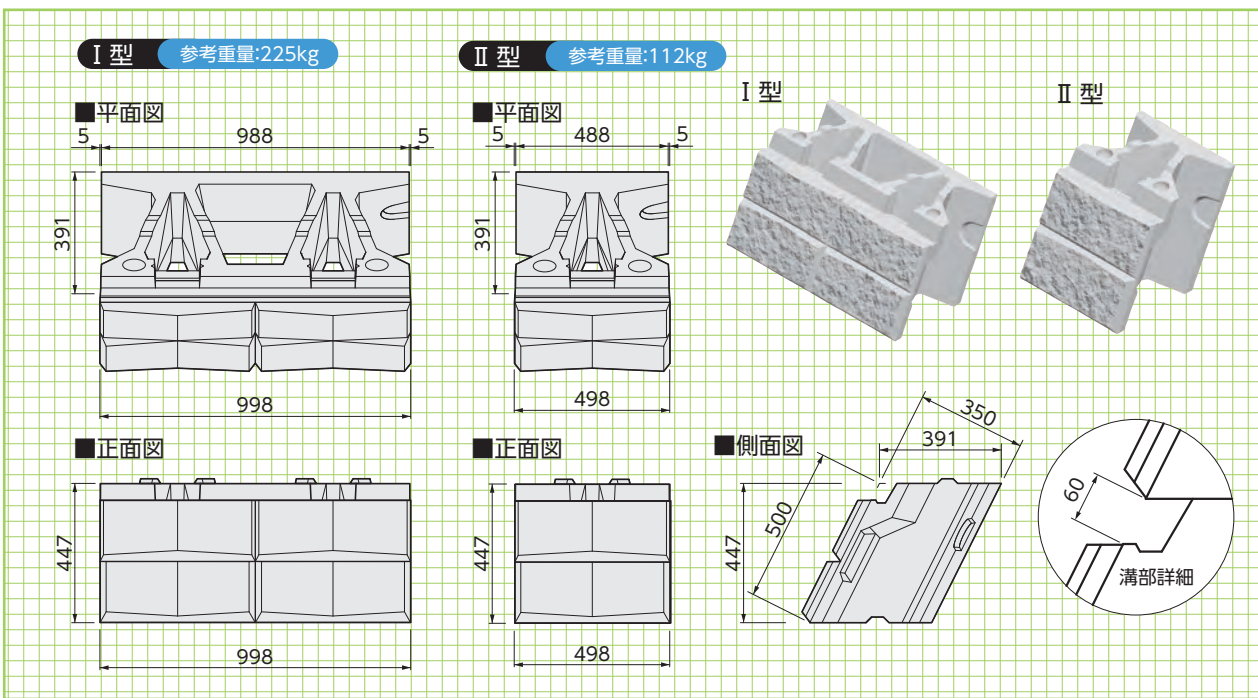
河川  
関連

基礎  
類

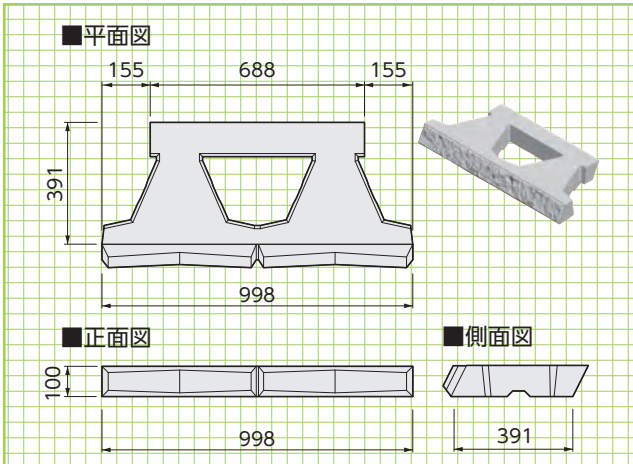
貯水  
槽関連

景観  
関連

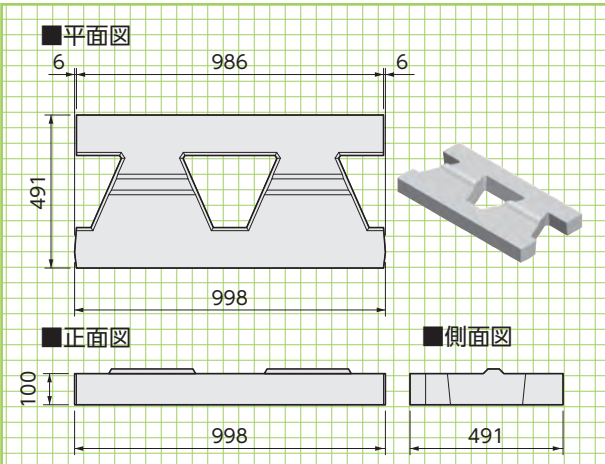
その他



■天端ブロック 参考重量:58kg



■基礎ブロック 参考重量:87kg



■規格諸元

呼称	参考重量 (kg/個)	胴込め土砂量 (m³/m)	胴込めコンクリート量 (m³/m)	使用個数 (個/m)
レグストーンI型	225	0.0408	0.1246	2
レグストーンII型	112	0.0408	0.1256	4

■規格諸元

呼称	参考重量 (kg/個)	胴込めコンクリート (m³/m)	使用個数 (個/m)
天端ブロック	58	0.0142	1
基礎ブロック	87	0.0103	1

※天端ブロックの胴込めコンクリートは、現場状況に応じて変更してください。  
※天端ブロックと基礎ブロックには端部用があります。





# ネクストーン〈環境保全型ブロック〉

NETIS掲載終了  
CB-980078-V

## ●特長

### 1.土圧や流体力に対する安定性も十分確保

法勾配が1:0.3~1:0.6程度に適合し、コンクリート積みブロック以上の控長(410mm)とほぼ同等の壁体重量を有するため、土圧に対する安定性、流体力に対する安定性は十分に確保されます。適用流速:0~8.0m/sです。

### 2.草木の繁茂で昆虫等の生息場を提供

壁体内部に中詰めされた土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂により、草木が繁茂できる場、ホタル・昆虫等の生息できる場が提供できます。

また、水面からは、水生生物の生息巣孔にもなり、生態系を保護します。

### 3.小動物の生息にもやさしい

一段195mmごとに形成される溝部平場100mm(ずらさない場合60mm)により、小動物が法面を自由に上り下りしたり、往来したりできます。また、平場からの草木の成長により、コンクリートの見えない護岸になります。

平均明度  
※4.5~5.5  
輝度の標準偏差  
31

※製造工場によって異なります。



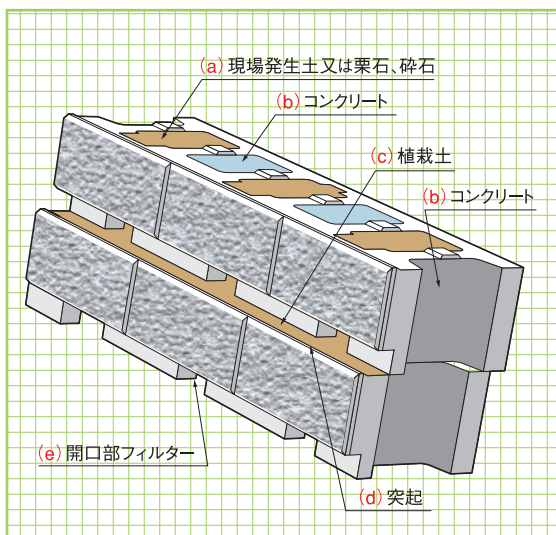
ご注意: 製品表面の仕上げは製造方法の違いにより、本カタログの写真と異なる場合がありますのでご了承ください。

## 構造図

ブロックを右図に示すように細積みし、壁体内部に形成されるブロック中空部(a)に植栽土を、また、ブロック相互の中空部(b)にコンクリートを充填します。

上段にくるブロックを50mmずらして積むことにより形成される平場(c)に植栽土を盛ります。

(c)部に盛られた植栽土は、突起(d)により流失が防げます。また、開口(e)部には中詰め土砂の流失を防ぐため、フィルター等をセットします。



## 標準施工断面図例

### ■ 胴込材の選定例

#### 1. 河川に使用する場合

常時水中にある部分及び流水の影響を受ける部分までは、割り栗石または碎石を使用します。

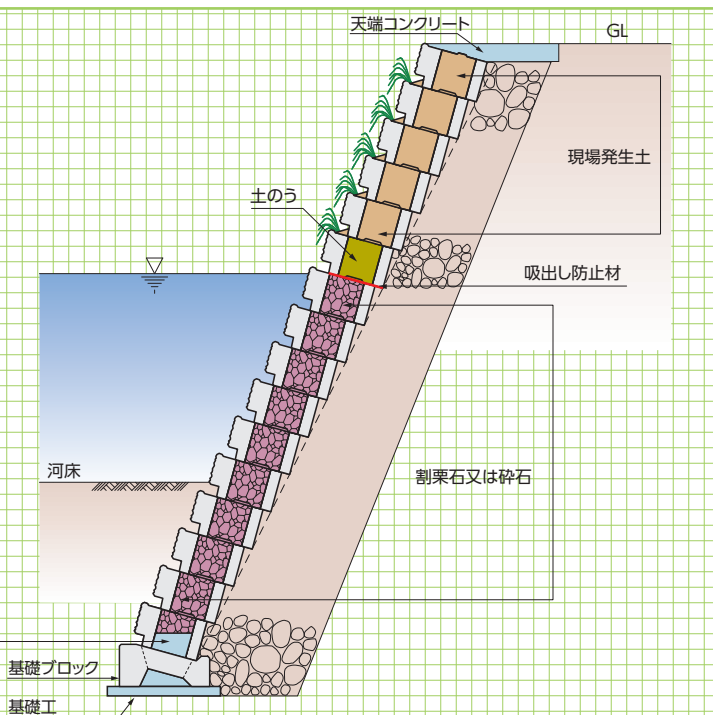
#### 2. 道路・公園等に使用する場合

植生効果を促進する必要がある場合には、すべて植生土を使用します。植生土は現場発生土を使用することも可能です。

### ■ 安定検討について

ネクストーンは、1m<sup>2</sup>当たりの壁体重量が控長35cmのコンクリート積みブロックとほぼ同等のため、設計はブロック積み擁壁に準じて行います。そのため、直高5m以下での安定検討は特に必要ありませんが、御希望の場合は検討書を作成いたします。参考文献:「農林水産省土地改良事業標準設計第9編擁壁」ブロック積み擁壁の安定計算(示力線法による)

※最下段ブロックには、基礎工との一体化を図るため胴込め材を入れる部分にも、コンクリートを半分の高さ程度充填してください。



基本形状図  
I型・II型

形状・寸法  
重量

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

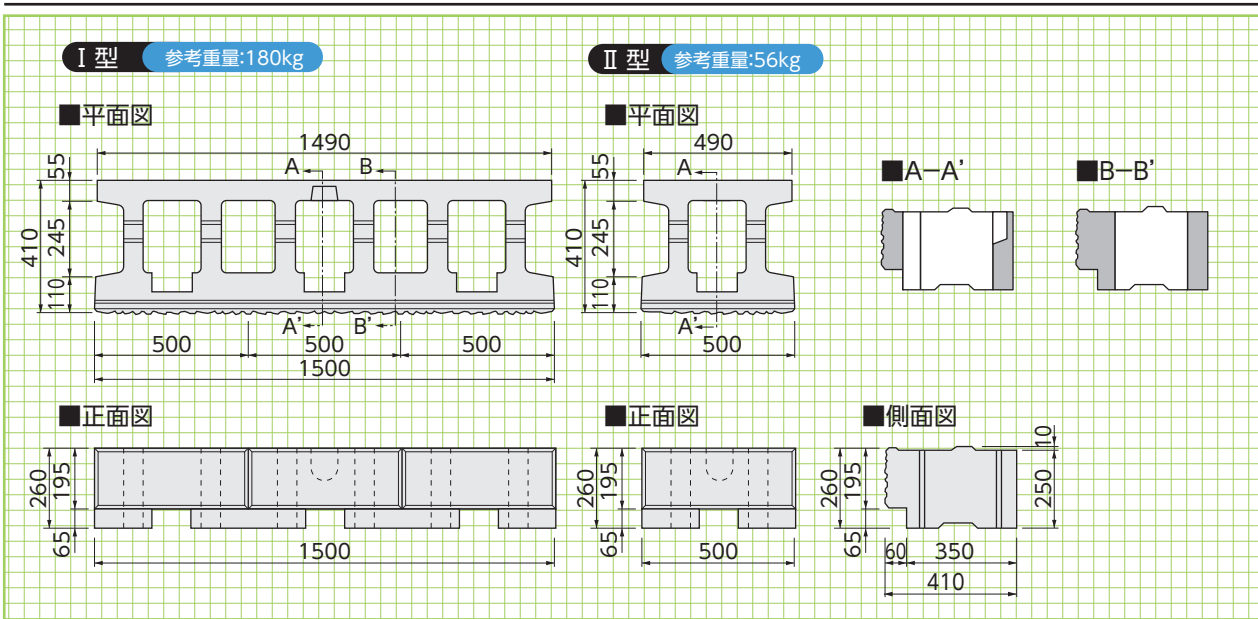
河川関連

基礎類

貯水槽関連

景観関連

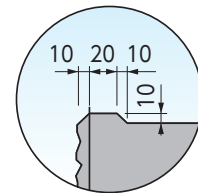
その他



■規格諸元

呼称	主要寸法 高さ×幅×控長 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> /個)	参考重量 (kg/個)	胴込め 土砂量 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	胴込め コンクリート量 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	使用個数 (個/m <sup>2</sup> )
I 型	250×1500×410	0.07237	180.0	0.1011	0.0795	2.667
II 型	250× 500×410	0.02394	56.0	0.1032	0.0848	8.0

■突起部詳細

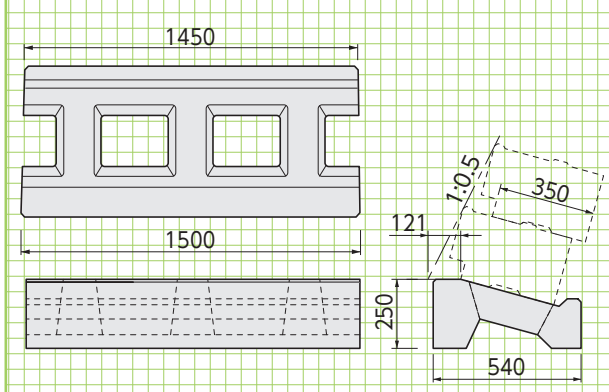


ご注意:製造方法の違いにより、寸法の一部および重量が本カタログと異なる場合がありますのでご了承ください。

専用の5分勾配用基礎ブロック(ずらし積、直積)を用意しております。

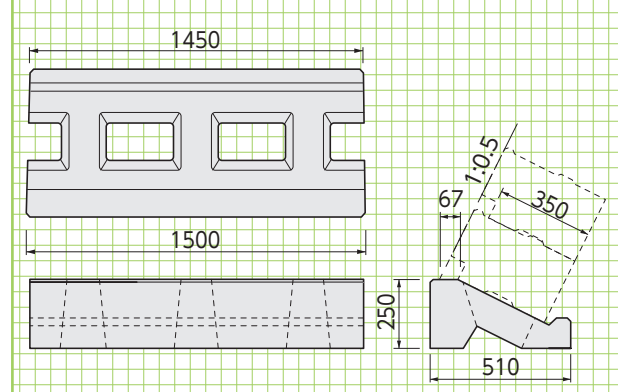
■基礎ブロックA型(5分勾配ずらし積)

中詰めコンクリート0.4m<sup>3</sup>/10m 参考重量=230kg



■基礎ブロックB型(5分勾配直積)

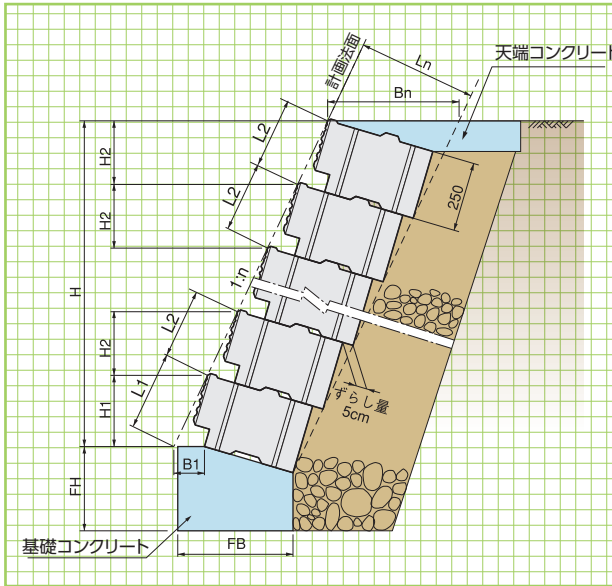
中詰めコンクリート0.25m<sup>3</sup>/10m 参考重量=205kg



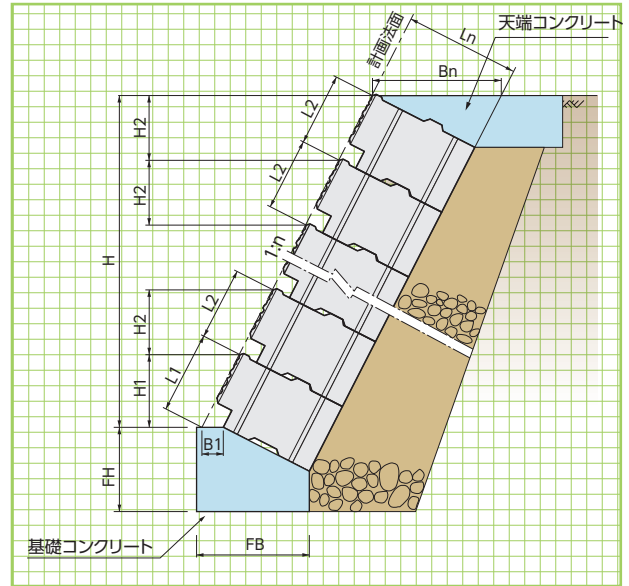
基本敷設  
寸法図  
(I、II型共通)

形状・寸法

#### ずらして積んだ場合



#### ずらさないで積んだ場合



#### ■1段当たり敷設寸法(ずらした場合)

(単位: mm)

法勾配	1段目(根石工)			2段目以上		仮想最大控長	
	H1	L1	B1	H2	L2	Ln	Bn
1:0.3	255	266	113	244	255	451	471
1:0.4	257	277	116	237	255	451	486
1:0.5	257	287	121	228	255	451	504
1:0.6	256	298	126	219	255	451	526

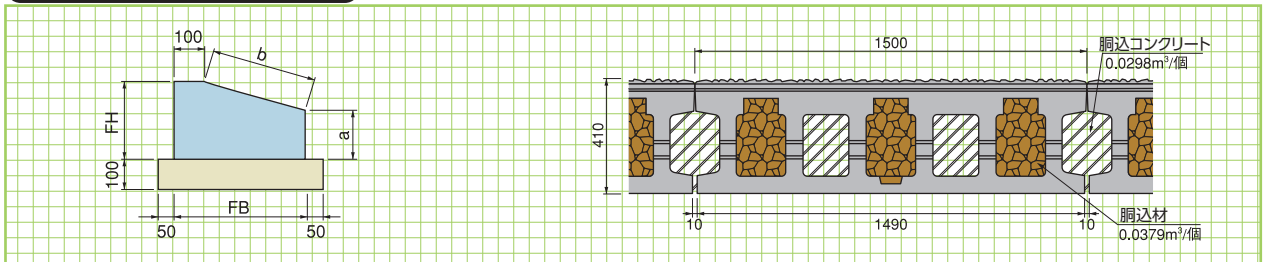
#### ■1段当たり敷設寸法(ずらさない場合)

(単位: mm)

法勾配	1段目(根石工)			2段目以上		仮想最大控長	
	H1	L1	B1	H2	L2	Ln	Bn
1:0.3	257	268	63	239	250	410	428
1:0.4	254	274	65	232	250	410	442
1:0.5	250	280	67	224	250	410	458
1:0.6	245	286	70	214	250	410	478

敷設平面図  
I型

#### 標準基礎工寸法図(I、II型共通)



#### ■本体内数量算出式

区分	単位	計算式
施工直高(H)	m	$H1 + (N-1) \times H2$
施工法長(L)	m	$L1 + (N-1) \times L2$
施工面積	m <sup>2</sup>	$0.375 (m^2/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込土砂	m <sup>3</sup>	$0.0379 (m^3/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込コンクリート	m <sup>3</sup>	$0.0298 (m^3/\text{個}) \times M (\text{個})$

N: ブロック積み段数(段) M: ブロック使用数量(個)

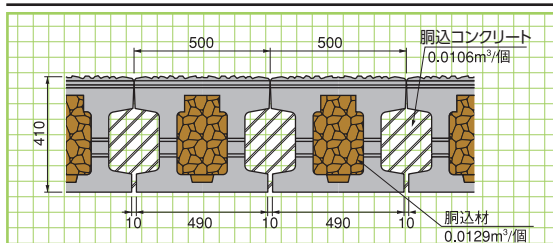
#### ■基礎工寸法・材料表(ずらして積んだ場合)

法勾配	裏コン厚(mm)	基礎寸法(mm)				延長10m当たり		
		FH	FB	a	b	コンクリート(m <sup>3</sup> )	型枠(m <sup>2</sup> )	基礎材(m <sup>2</sup> )
1:0.3	無し	250	448	217	350	1.06	4.67	5.48
	100	300	448	267	350	1.29	5.67	5.48
	100	300	550	258	452	1.56	5.58	6.50
1:0.4	無し	250	444	186	350	1.00	4.36	5.44
	100	300	444	236	350	1.22	5.36	5.44
	100	300	544	218	452	1.45	5.18	6.44
1:0.5	無し	250	438	158	350	0.94	4.08	5.38
	100	300	438	208	350	1.16	5.08	5.38
	150	350	585	218	503	1.73	5.68	6.85
1:0.6	無し	250	430	132	350	0.88	3.82	5.30
	100	300	430	182	350	1.10	4.82	5.30
	150	350	574	181	503	1.61	5.31	6.74

※ずらさないで積んだ場合の基礎工寸法・数量は、通常のコンクリート積みブロックに準じます。  
 ※基礎高(FH)、基礎材の有無、岩着時の基礎形状等は、発注自治体の標準設計に習ってください。  
 (基本的には、FH=250を標準とします。)

ご注意: 製造方法の違いにより、寸法の一部および重量が本カタログと異なる場合がありますのでご了承ください。

敷設平面図  
II型



#### ■本体内数量算出式

区分	単位	計算式
施工直高(H)	m	$H1 + (N-1) \times H2$
施工法長(L)	m	$L1 + (N-1) \times L2$
施工面積	m <sup>2</sup>	$0.125 (m^2/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込土砂	m <sup>3</sup>	$0.0129 (m^3/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込コンクリート	m <sup>3</sup>	$0.0106 (m^3/\text{個}) \times M (\text{個})$

N: ブロック積み段数(段) M: ブロック使用数量(個)



# ネイレール〈河川根入れブロック〉

NETIS登録  
QS-190055-A

意匠登録第1607733号  
特許第6984877号



平均明度  
6.0

輝度の標準偏差  
26

## 護岸の根入れ部分をプレキャスト化

### ●特長

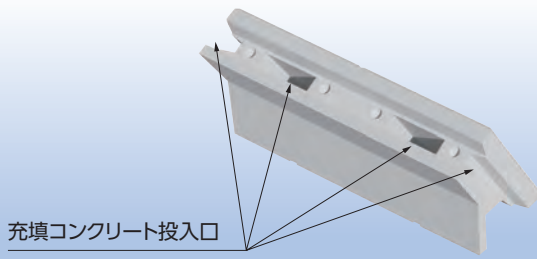
#### 1. 施工期間の短縮

根入れ部分を代替するブロックのため、施工期間が大幅に短縮できます。したがって、仮締め切り期間が短く濁水の処理問題を回避し、河川の生態環境へのダメージが少なくなります。

#### 2. 表面は景観に配慮した模様となっています。

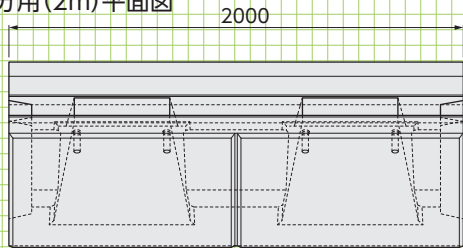
#### 3. 鋼矢板を使用する基礎工にも対応できます。

#### 4. 充填コンクリートにより隣接するブロックの一体化が図れます。



充填コンクリート投入口

■5分用(2m)平面図



5分用(2m)

参考重量:1300kg

2割用(2m)

参考重量:1270kg

5分用(1m)

参考重量:620kg

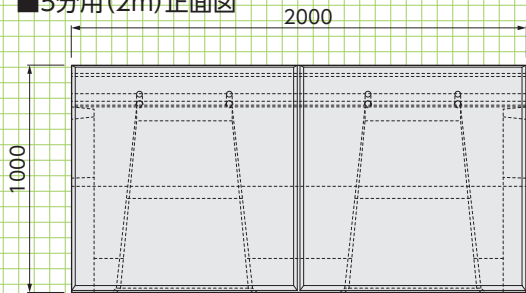
2割用(1m)

参考重量:600kg

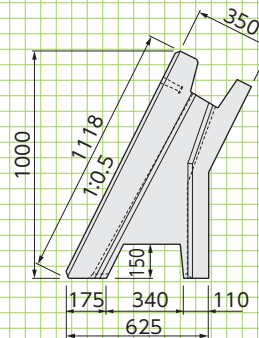
中詰めコンクリート:1.55m<sup>3</sup>(10m当り)

中詰めコンクリート:1.35m<sup>3</sup>(10m当り)

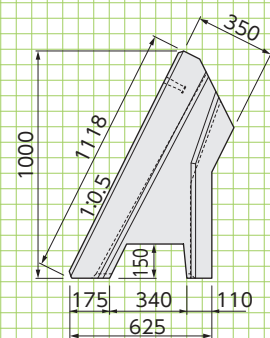
■5分用(2m)正面図



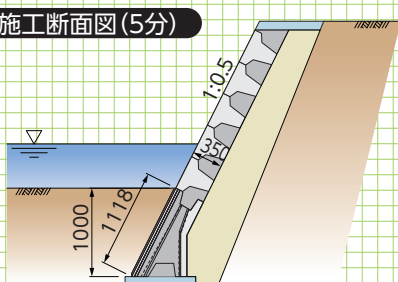
■5分用側面図



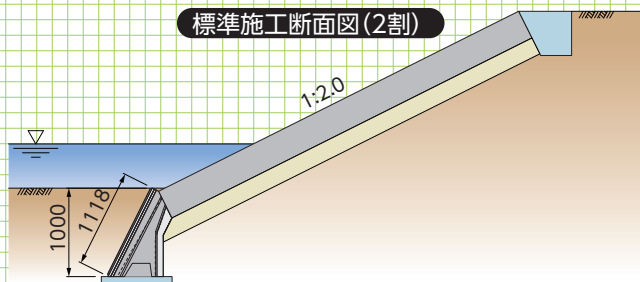
■2割用側面図



標準施工断面図(5分)



標準施工断面図(2割)



基本形状図

形状・寸法  
重量表

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

貯水槽関連

景観関連

その他

施工断面図

# サイドブロック 〈プレキャスト小口止ブロック〉



NETIS登録  
QS-140005-VE

宮崎県  
新技術

特許登録第6151929号

平均明度  
※6.0

輝度の標準偏差  
30

※ハツリ模様に限る。

小口止め工をプレキャスト化  
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

## ●特長

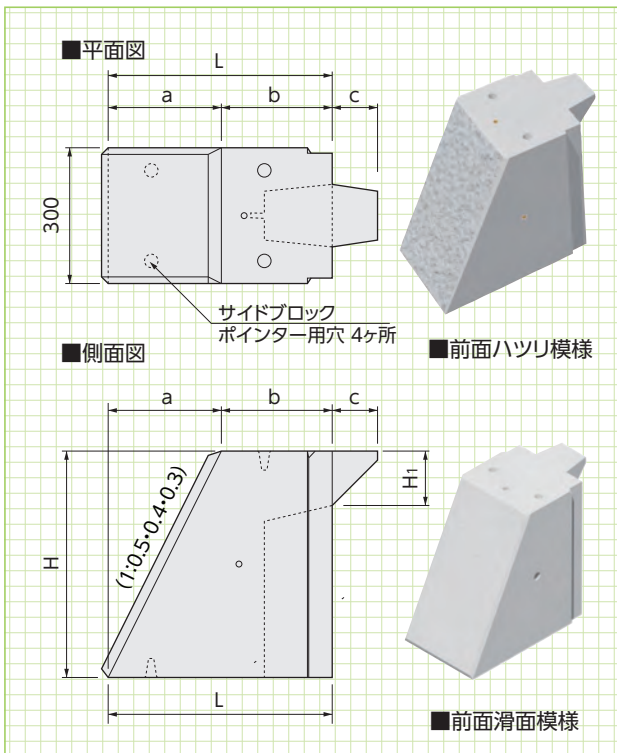
- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。



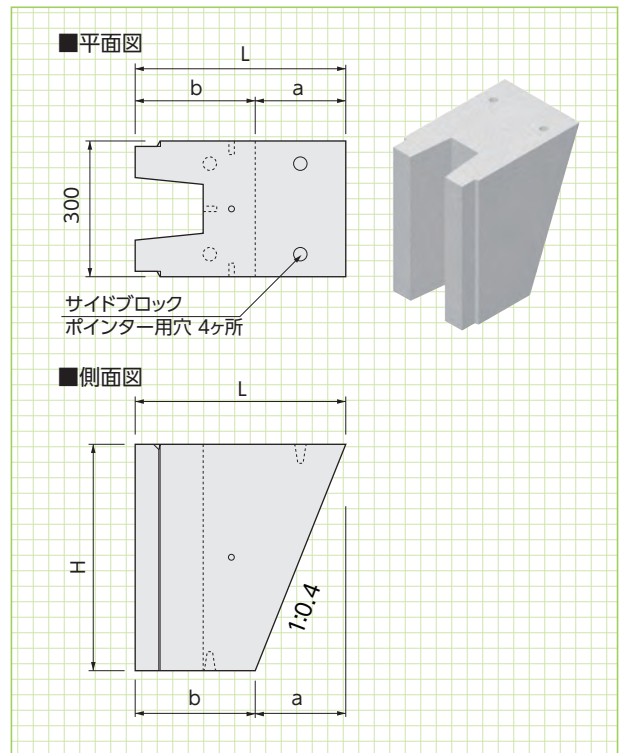
## 基本形状図

形状・寸法  
重量

### 前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



### 背面用ブロック



## ■寸法・重量表

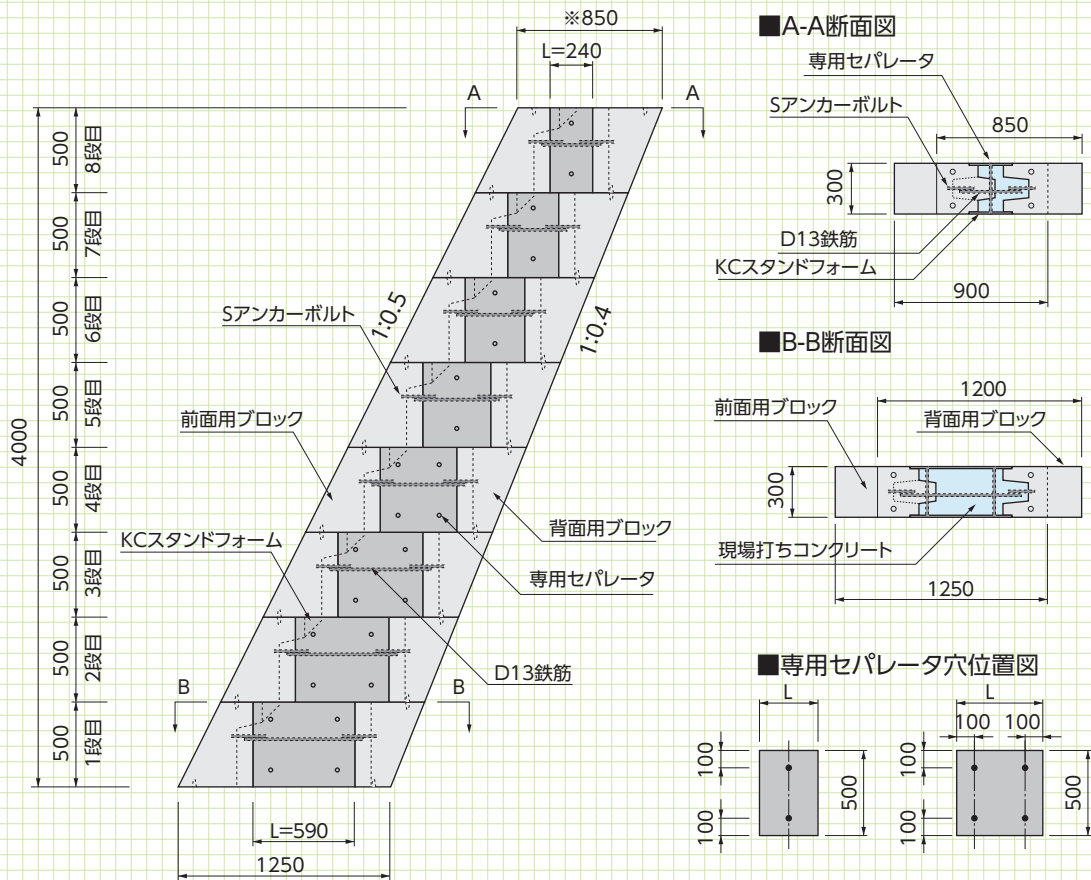
呼称	寸法(mm)						参考重量(kg)
	L	a	b	c	H	H <sub>1</sub>	
3分用	485	150	335	100	500	120	130
4分用	485	200	285	100	500	120	121
前面用(5分)	485	250	235	100	500	120	113
背面用(4分)	465	200	265	—	500	—	103

※3分用ブロックは反転して背面用としても使用できます。



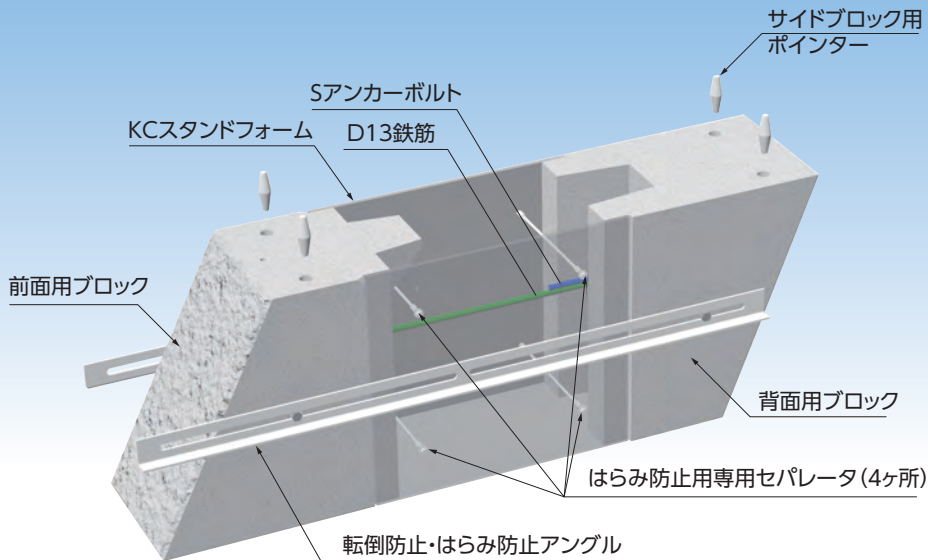
標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工断面図

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

構造図

貯水槽関連

景観関連

その他



# ベースブロック (九州タイプ) (護岸基礎ブロック)

NETIS掲載終了  
CB-990024-V

意匠登録第1324235号

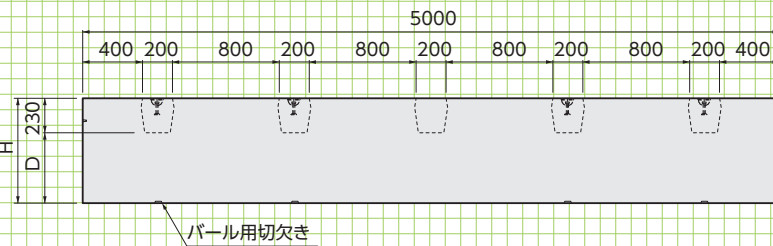
## ●特長

1. 長尺製品(5.0m)のため、施工効率が大幅に改善されます。
2. 型枠を必要とせず、中詰めコンクリートを打設することで一体化され、現場施工工期が大幅に短縮できます。
3. 水替え工が節減できます。
4. 中詰めコンクリート打設を容易にするため、コンパネ等を据える切り欠きを設けています。
5. ガイドピンを使用することで、施工効率向上と中詰めコンクリート打設時のブロックのズレを防ぎます。
6. カーブや端部処理用として、製品長2.0m及び1.0mを準備しています。
7. 205型の製品高さ及び天端幅は、土木設計要領(九州地方整備局)に準拠しています。
8. 歩掛りは、国土交通省土木工事積算基準に準拠しています。

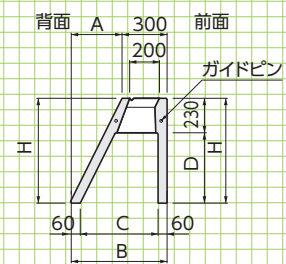


## 基本形状図

### ■正面図



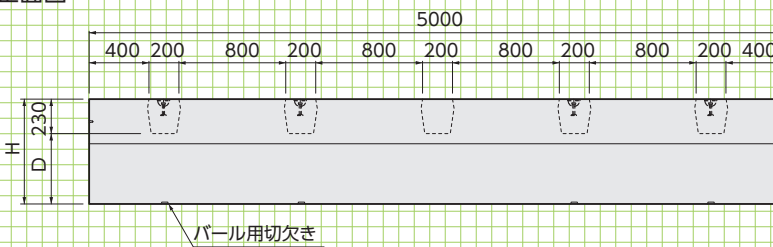
### ■断面図



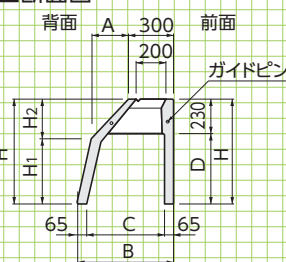
### ■寸法表(2割勾配用)

呼称	寸法 (mm)					参考重量 (kg)			中詰めコンクリート (m <sup>3</sup> /m)
	H	A	B	C	D	5m	2m	1m	
205型	500	240	540	420	270	883	353	176	0.140
206型	600	290	590	470	370	1032	413	206	0.180
207型	700	340	640	520	470	1182	473	236	0.229

### ■正面図



### ■断面図



### ■寸法表(1割5分勾配用)

呼称	寸法 (mm)							参考重量 (kg)			中詰めコンクリート (m <sup>3</sup> /m)
	H	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	A	B	C	D	5m	2m	1m	
155型	500	76	424	282	590	460	270	945	380	190	0.149
156型	600	176	424	282	600	470	370	1095	440	220	0.196
157型	700	276	424	282	610	480	470	1245	500	250	0.243

### ■寸法表(1割勾配用)

呼称	寸法 (mm)							参考重量 (kg)			中詰めコンクリート (m <sup>3</sup> /m)
	H	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	A	B	C	D	5m	2m	1m	
105型	500	217	283	283	595	465	270	975	390	195	0.168
106型	600	317	283	283	600	470	370	1125	450	225	0.238
107型	700	417	283	283	605	475	470	1275	510	255	0.340

敷設例

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

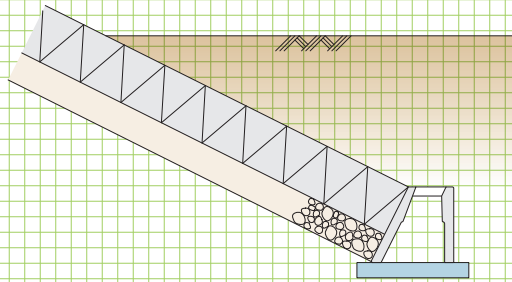
基礎類

貯水槽関連

景観関連

その他

■敷設例





# 緑遊〈植栽ブロック〉

## ●特長

1. ブロック本体に充填された栗石や砕石で形成させる空隙は、草木の繁茂や虫たちの生活の場を提供します。
2. 通常、護岸として用いられる積ブロックの使用数は7~10個/m<sup>2</sup>、本ブロックは2個/m<sup>2</sup>使いであるため、施工の省力化が図れ工期を大幅に短縮できます。
3. ブロックの控長は50cm、75cmで、壁体質量も胴込め材量を含め約950kg/m<sup>2</sup>、組積みされたブロックの上下面は凹凸によるかみ合わせと胴込め材料によるせり持とで滑り出しを防止し、土圧に対し十分な安全性があります。
4. ブロックの表面は適度の陰影と石積護岸イメージを与え、周辺の景観に溶け込みます。



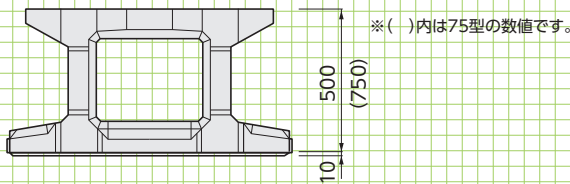
## ■用途

河川などの護岸工。道路などの土留擁壁工。治山などの土留山腹工。  
宅地造成などの土留擁壁工。風致地区などの景観保全工

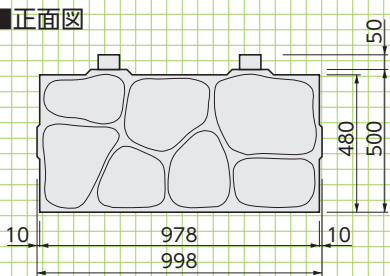
基本形状図  
A形

形状・寸法  
重量

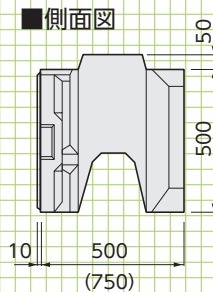
### ■平面図



### ■正面図



### ■側面図

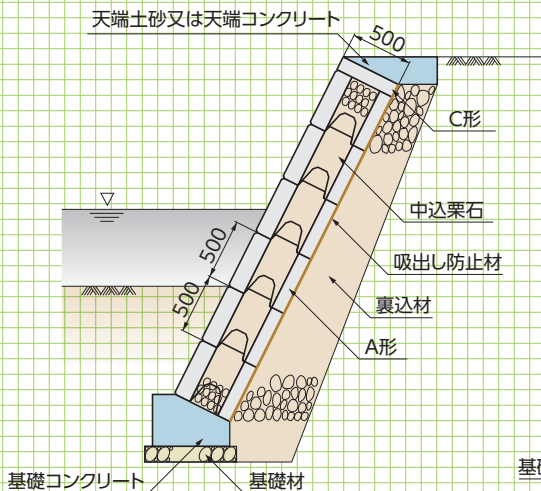


### ■寸法・重量表

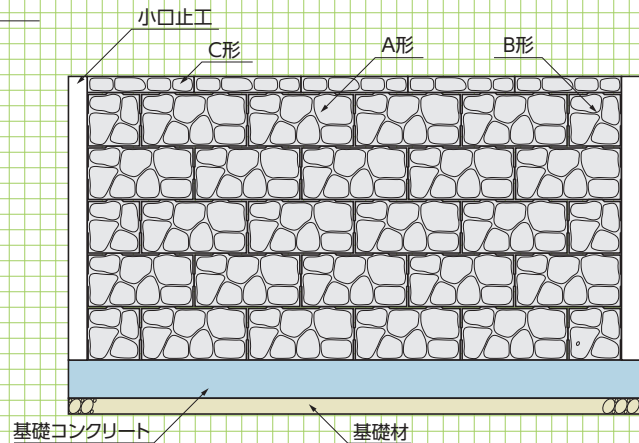
呼称	主要部寸法 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> /個)	参考重量 (kg/個)	
	高さ×幅×控え長			
A形	50型	500×998×500	0.0957	220
	75型	500×998×750	0.1314	302
B形	50型	500×498×500	0.0487	112
	75型	500×498×750	0.0692	159
C形	50型	150×998×500	0.0718	165
	75型	150×998×750	0.1092	251
D形	50型	150×498×500	0.0357	82
	75型	150×498×750	0.0544	125

標準断面図

### ■標準施工断面図



### ■標準展開図





# 緑遊II (植栽ブロック)

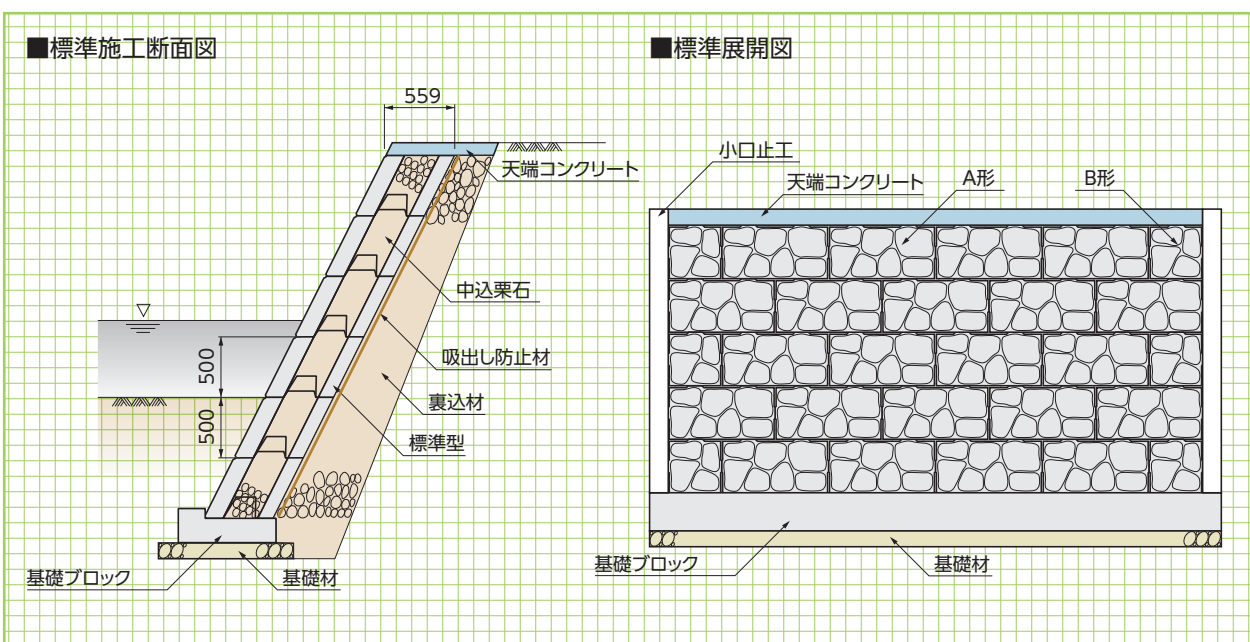
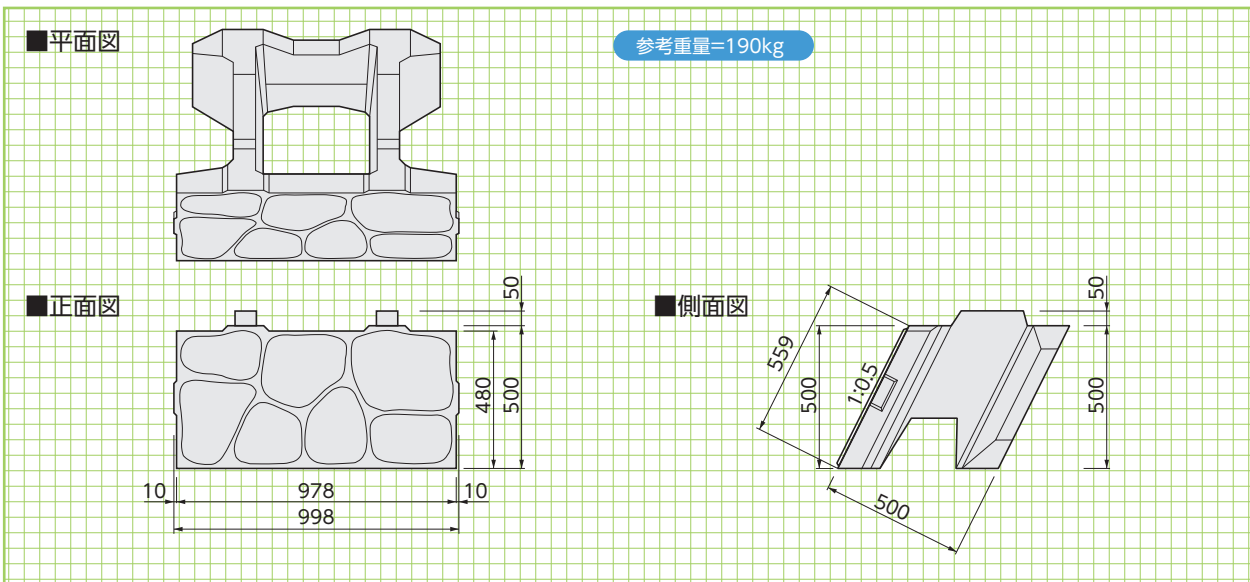
## ●特長

1. 緑遊IIは、ブロックを水平に設置するだけで5分勾配の擁壁を構築することが出来ます。そのため、従来のブロックと比較して施工性に優れ、また、5分勾配で自立するため、作業時の安全性に優れています。
2. ブロックの控長は50cmで、壁体質量も胴込め材量を含め約870kg/m<sup>2</sup>、組積みされたブロックの上下面は凹凸によるかみ合わせと胴込め材料によるせり持とで滑り出しを防止し、土圧に対し十分な安全性があります。



## ■用途

河川などの護岸工。道路などの土留擁壁工。治山などの土留山腹工。  
宅地造成などの土留擁壁工。風致地区などの景観保全工



# 粗面ブロック (宮崎県型積みブロック)

JIS

## ●特長

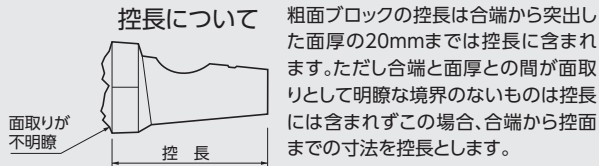
- 1.面版は自然石から転写した割石模様のため、自然環境との調和に優れています。
- 2.面版のデザインを除き、寸法規格は宮崎県型積みブロックと同じ仕様です。

平均明度 ※製造工場によって異なります。  
※4.5~5.5

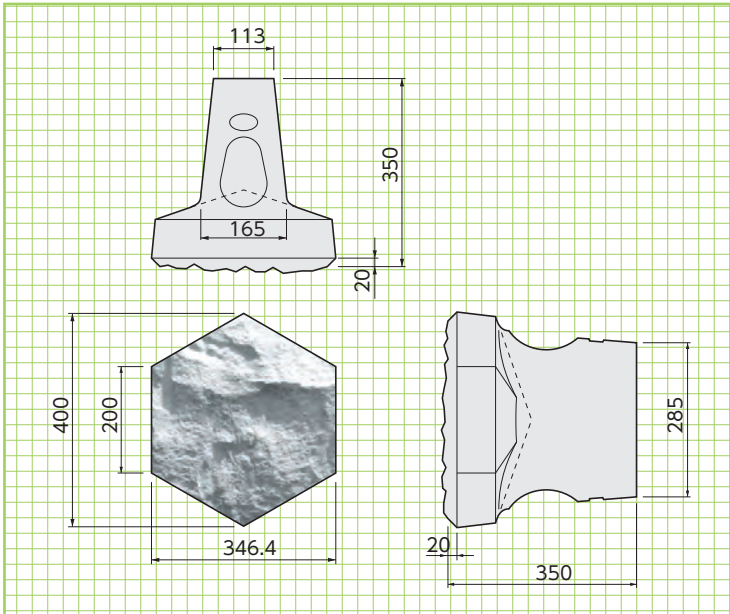


## 基本形状図

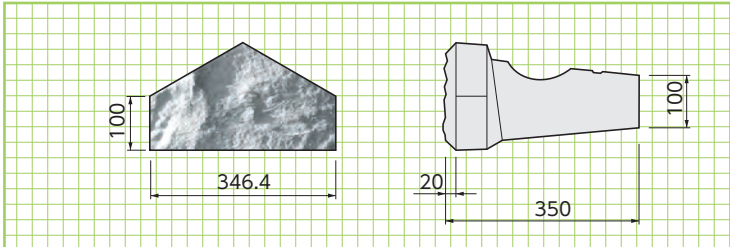
形状・寸法  
重量表



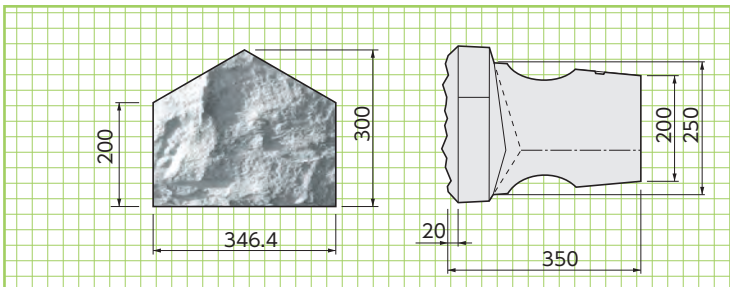
## A型



## B-10型(根石・天端石用)



## B-20型(根石・天端石用)

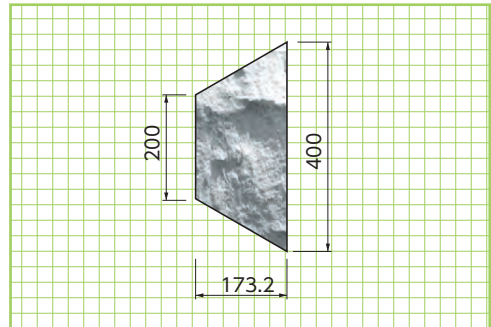


## ■参考重量

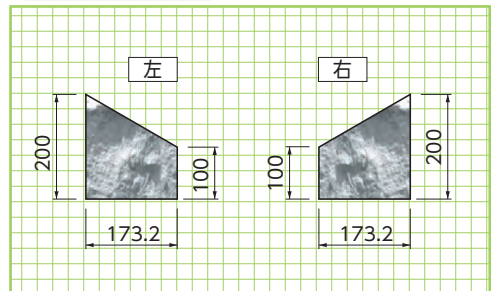
呼称	重量(kg)
A型	41.5
B-10型	19.0
B-20型	33.0
C型	21.5
D-10型	13.0
D-20型	23.5

許容寸法 面版部：±3.0 控長：±5.0

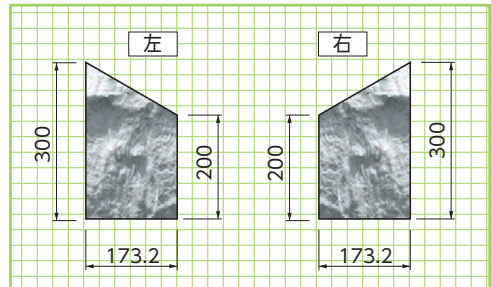
## C型(側石用)



## D-10型(隅石用)



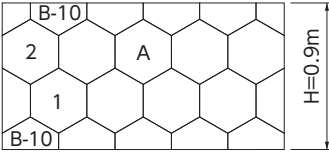
## D-20型(隅石用)



**組積方法** 宮崎県型ブロックは法長最低0.3mから10cm刻みで、延長は0.3464mの倍数でご計画ください。(モスブロックは若干異なります。)

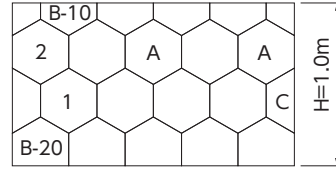
■積み方a

根石・天端石共にB-10型を用いる。



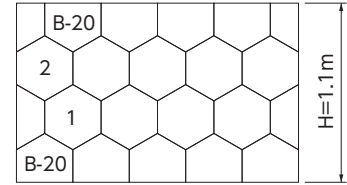
■積み方b

根石または天端石のいずれか片方にB-10型一方にはB-20型を用いる。

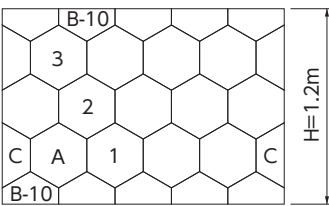


■積み方c

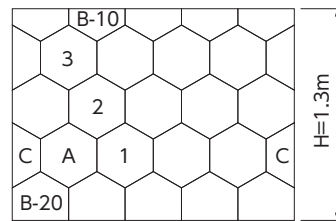
根石・天端石共にB-20型を用いる。



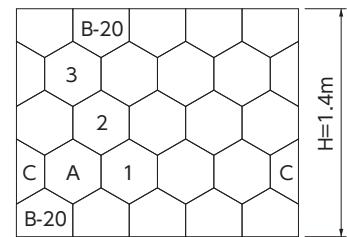
■積み方a



■積み方b



■積み方c



- A型 : 基本ブロック。
- B-10型 : 根石または天端ブロックとして用いる、立ち上がり寸法10cmのもの。
- B-20型 : 根石または天端ブロックとして用いる、立ち上がり寸法20cmのもの。
- C型 : 側石として用いる。
- D-10型 : 隅石として用いる、立ち上がり寸法10cmのもの。
- D-20型 : 隅石として用いる、立ち上がり寸法20cmのもの。

■参考歩掛 (1m<sup>2</sup>当り)

呼称	材 料		職 種			
	県型積みブロック(個)	胴込コンクリート(m <sup>3</sup> )	世話役(人)	ブロック工(人)	普通作業員(人)	ラフテレーンクレーン(日)
基本型	9.62	0.185	0.02	0.07	0.12	0.04

※上記歩掛には、胴込コンクリート工の手間は含まれておりません。  
※ラフテレーンクレーンは15~16t吊りとする。

■法長別延長10m当りブロック所要個数

法長(m)	積み方	A型積段	A	B-10	B-20	C	D-10	D-20
0.3	a	0	0	57	0	0	2	0
0.4	b	0	0	29	28	0	0	2
0.5	c	0	0	0	57	0	0	2
0.6	a	1	28	58	0	2	0	0
0.7	b	1	28	29	29	2	0	0
0.8	c	1	28	0	58	2	0	0
0.9	a	2	57	57	0	2	2	0
1.0	b	2	57	29	28	2	0	2
1.1	c	2	57	0	58	2	0	2
1.2	a	3	85	58	0	4	0	0
1.3	b	3	85	29	29	4	0	0
1.4	c	3	85	0	58	4	0	0
1.5	a	4	114	57	0	4	2	0
1.6	b	4	114	29	28	4	0	2
1.7	c	4	114	0	57	4	0	2
1.8	a	5	142	58	0	6	0	0
1.9	b	5	142	29	29	6	0	0
2.0	c	5	142	0	58	6	0	0
2.1	a	6	171	57	0	6	2	0
2.2	b	6	171	29	28	6	0	2
2.3	c	6	171	0	57	6	0	2
2.4	a	7	199	58	0	8	0	0
2.5	b	7	199	29	29	8	0	0
2.6	c	7	199	0	58	8	0	0
2.7	a	8	228	57	0	8	2	0
2.8	b	8	228	29	28	8	0	2
2.9	c	8	228	0	57	8	0	2

法長(m)	積み方	A型積段	A	B-10	B-20	C	D-10	D-20
3.0	a	9	256	58	0	10	0	0
3.1	b	9	256	29	29	10	0	0
3.2	c	9	256	0	58	10	0	0
3.3	a	10	285	57	0	10	2	0
3.4	b	10	285	29	28	10	0	2
3.5	c	10	285	0	57	10	0	2
3.6	a	11	313	58	0	12	0	0
3.7	b	11	313	29	29	12	0	0
3.8	c	11	313	0	58	12	0	0
3.9	a	12	342	57	0	12	2	0
4.0	b	12	342	29	28	12	0	2
4.1	c	12	342	0	57	12	0	2
4.2	a	13	370	58	0	14	0	0
4.3	b	13	370	29	29	14	0	0
4.4	c	13	370	0	58	14	0	0
4.5	a	14	399	57	0	14	2	0
4.6	b	14	399	29	28	14	0	2
4.7	c	14	399	0	57	14	0	2
4.8	a	15	427	58	0	16	0	0
4.9	b	15	427	29	29	16	0	0
5.0	c	15	427	0	58	16	0	0
5.1	a	16	456	57	0	16	2	0
5.2	b	16	456	29	28	16	0	2
5.3	c	16	456	0	57	16	0	2
5.4	a	17	484	58	0	18	0	0
5.5	b	17	484	29	29	18	0	0
5.6	c	17	484	0	58	18	0	0



# ポラスモスブロック (環境保全型積みブロック)

宮崎県  
新技術

## ●特長

宮崎県型粗面ブロック全体にポラスコンクリートを使用した、環境保全型積みブロック「ポラスモスブロック」を開発致しました。

ポラスコンクリートとは、連続もしくは独立した空隙を多く含むコンクリートで、おこしのような形状です。ポラスコンクリートは、製品内の空隙が適度な含水、植物の根の伸長促進、種子・被覆土の流出抑制など様々な効用をもたらし、生態系における植物の遷移を促します。

新燃岳火山灰入り商品もございます。(新燃灰を焼成しコンクリートに対する有害物質を取り除き使用した製品です。)

平均明度  
3.5

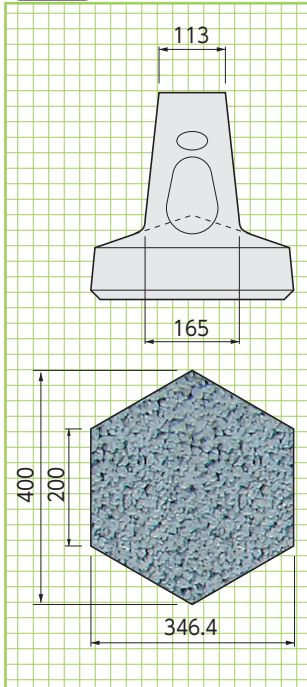
輝度の標準偏差  
59



## 基本形状

形状・寸法  
重量表

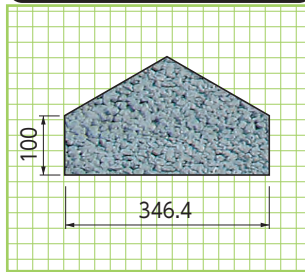
### AP型



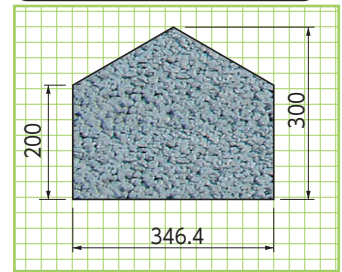
### ■参考重量

呼称	重量(kg)
AP型	40.0
BP-10型	18.6
BP-20型	32.4
CP型	20.9
DP-10型	12.9
DP-20型	22.9
天端石(調整用)	18.0

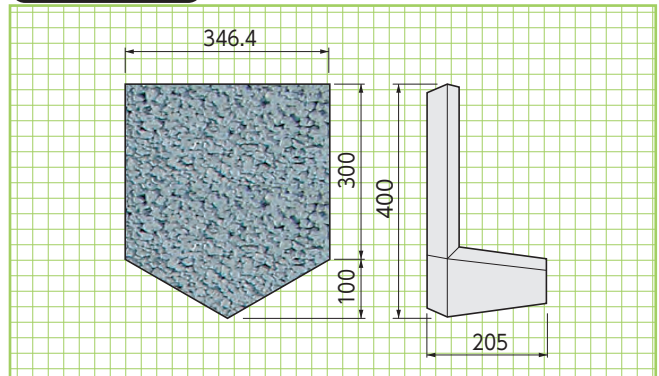
### BP-10型(根石・天端石用)



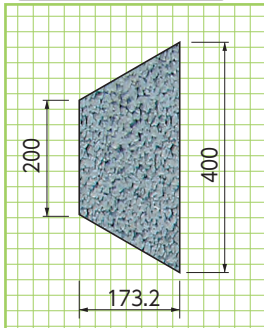
### BP-20型(根石・天端石用)



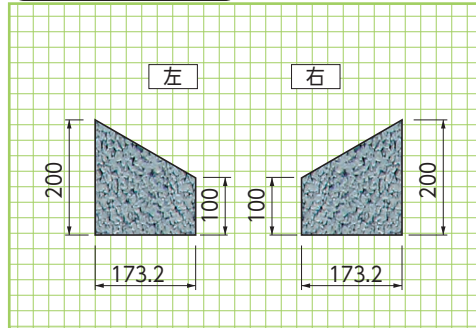
### 天端石(調整用)



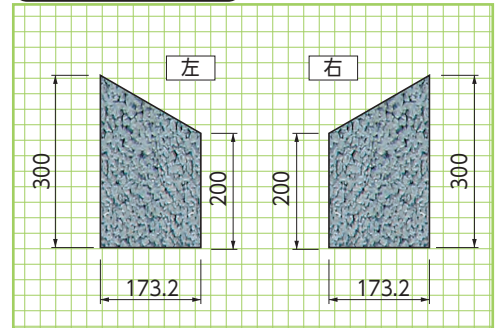
### CP型(側石用)



### DP-10型(隅石用)



### DP-20型(隅石用)



### ■参考歩掛 (1m<sup>2</sup>当り)

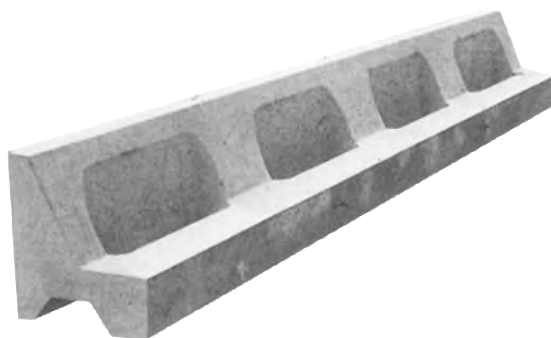
呼称	材 料		職 種			
	ポラスモスブロック (個)	胴込コンクリート (m <sup>3</sup> )	世話役 (人)	ブロック工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン (日)
基本型	9.62	0.185	0.02	0.07	0.12	0.04

※上記歩掛には、胴込コンクリート工の手間は含まれておりません。  
※ラフテレーンクレーンは15~16t吊りとする。

# 基礎ブロック



■積み基礎用(I)型



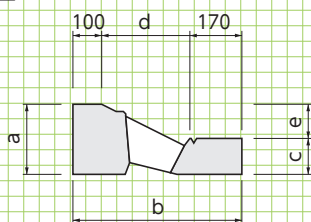
■張り基礎用(II)型

## 積み基礎用(I)型

適用勾配=3分~5分

10m当中詰コンクリート量:0.18m<sup>3</sup>

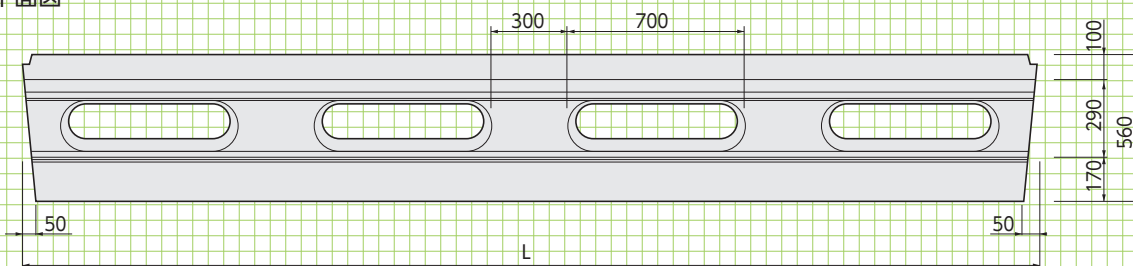
### ■断面図



### ■寸法・重量表

呼称	a	b	c	d	e	L	参考重量(kg)
L=1000	220	560	100	290	120	1000	163
L=2000	220	560	100	290	120	2000	325
L=4000	220	560	100	290	120	4000	664
許容差	±3	±5	±3	±3	±3	±10	-

### ■平面図



積み基礎用  
(I)型

形状・寸法  
重量表

擁壁類

河川関連

基礎類

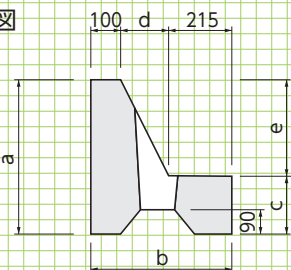
貯水槽関連

## 張り基礎用(II)型

適用勾配=1割~2割

10m当中詰コンクリート量:0.37m<sup>3</sup>

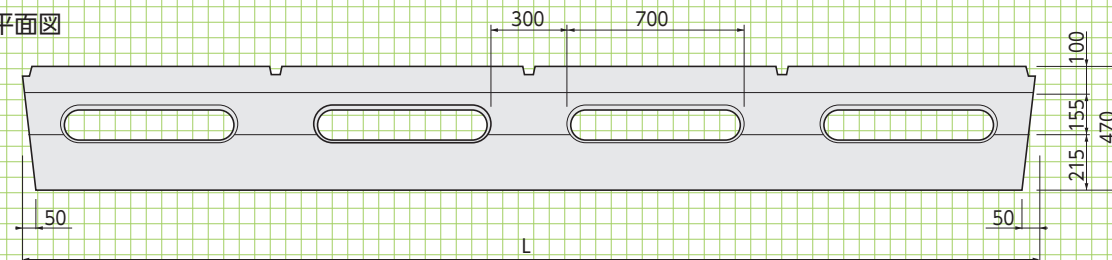
### ■断面図



### ■寸法・重量表

呼称	a	b	c	d	e	L	参考重量(kg)
L=1000	500	470	190	155	310	1000	260
L=2000	500	470	190	155	310	2000	520
L=4000	500	470	190	155	310	4000	1040
許容寸法	±3	±5	±3	±3	±3	±10	-

### ■平面図



張り基礎用  
(II)型

形状・寸法  
重量表

景観関連

その他

# 小口止めブロック

●特長

1. ブロック積擁壁小口止工の型枠作業を低減できます。
2. ブロック表面が割石模様のため、自然環境にマッチします。



基本型

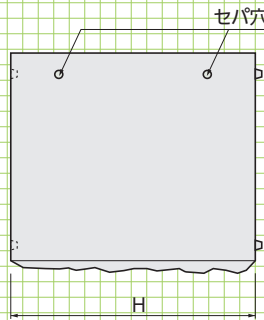
形状・寸法  
重量表

■割付表

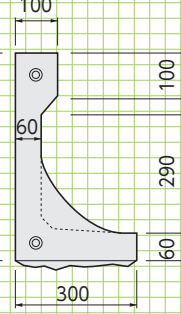
	根石	700	600	500	段数
2.00	1	1		2	4
2.10	1	1	1	1	4
2.20	1	2		1	4
2.30	1	2	1		4
2.40	1	3			4
2.50	1	1		3	5
2.60	1	1	1	2	5
2.70	1	2		2	5
2.80	1	2	1	1	5
2.90	1	3		1	5
3.00	1	3	1		5
3.10	1	4			5
3.20	1	2		3	6
3.30	1	2	1	2	6
3.40	1	3		2	6
3.50	1	3	1	1	6
3.60	1	4		1	6
3.70	1	4	1		6
3.80	1	5			6
3.90	1	3		3	7
4.00	1	3	1	2	7
4.10	1	4		2	7
4.20	1	4	1	1	7
4.30	1	5		1	7
4.40	1	5	1		7
4.50	1	6			7
4.60	1	4		3	8
4.70	1	4	1	2	8
4.80	1	5		2	8
4.90	1	5	1	1	8
5.00	1	6		1	8

■基本型(左右兼用)

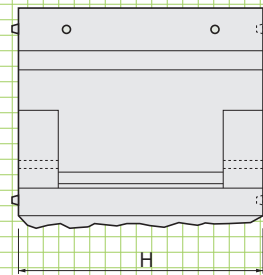
■側面図(表)



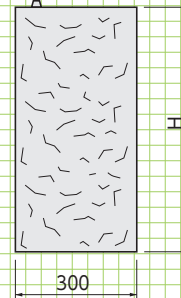
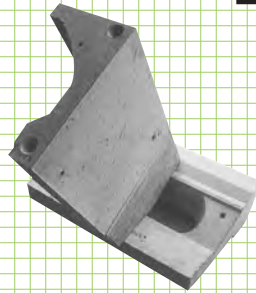
■平面図



■側面図(裏)



■正面図



■重量表

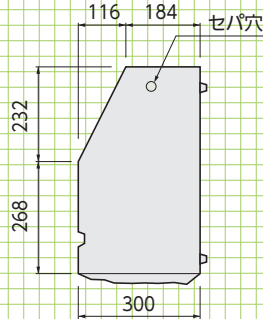
呼称	参考重量(kg)
H500	71
H600	85
H700	96

根石型

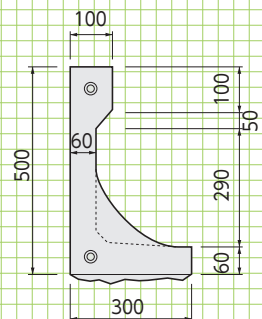
形状・寸法  
重量表

■根石型(左右有り) 参考重量=41kg

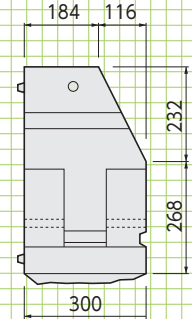
■側面図(表)



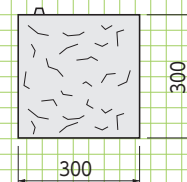
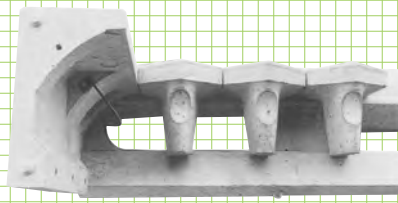
■平面図



■側面図(裏)



■正面図





# 横帯ブロック

〈横帯工用プレキャストブロック〉

NETIS登録  
QS-110005-VE  
活用促進技術

宮崎県  
新技術

横帯工(のり覆工の延長方向の一定区間ごとに設け、護岸の変位・破損が他に波及しないように絶縁する)に使用する、プレキャストブロックです。

## ●特長

### 1.工期短縮

型枠の設置、撤去、養生期間が不要なため、生コンクリート打設後、次工程の作業が行えるので、養生による工程待ちの解消や工期短縮が可能です。

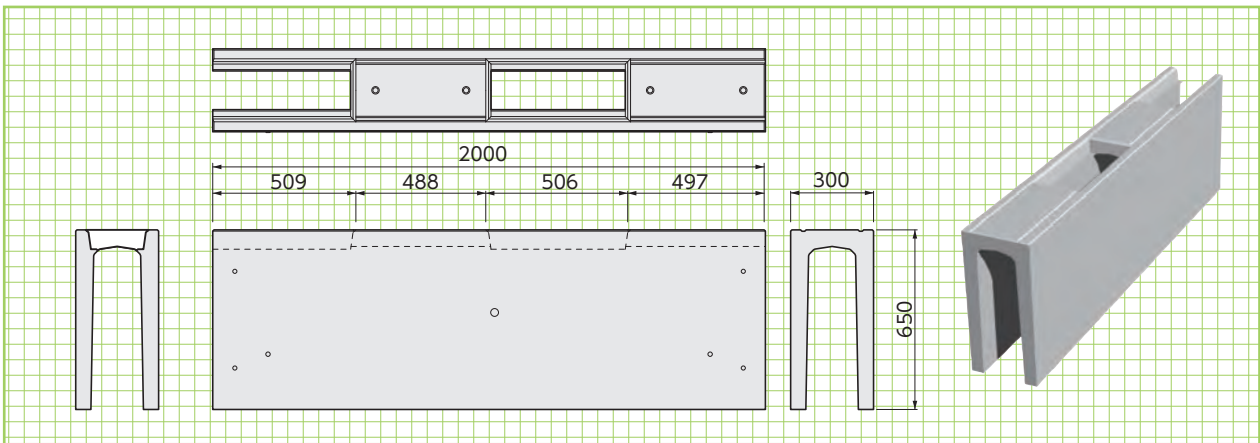
2.埋設型枠であり、生コンクリート打設時の型枠バラがありません。

3.型枠工などの熟練工を必要としません。

4.河川護岸法面部分のコテ仕上げ作業が不要です。



基本型 参考重量=400kg 充填コンクリート量:0.208m<sup>3</sup>



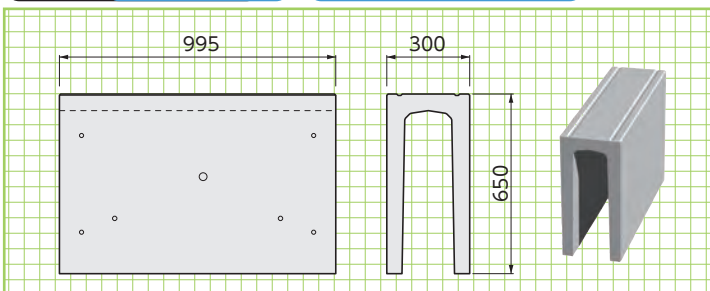
基本形状図

形状・寸法  
重量表

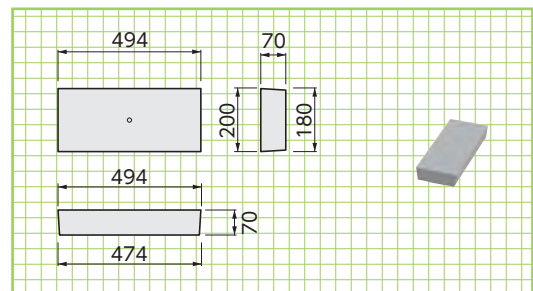
河川関連

基礎類

端部型 参考重量=215kg 充填コンクリート量:0.104m<sup>3</sup>



投入口蓋版 参考重量=15kg



貯水槽関連

景観関連

その他



▲横帯工での使用例



▲階段工での使用例

# ステップブロック 水理特性値証明取得製品 (水密タイプ)

NETIS掲載終了  
CB-070043-V

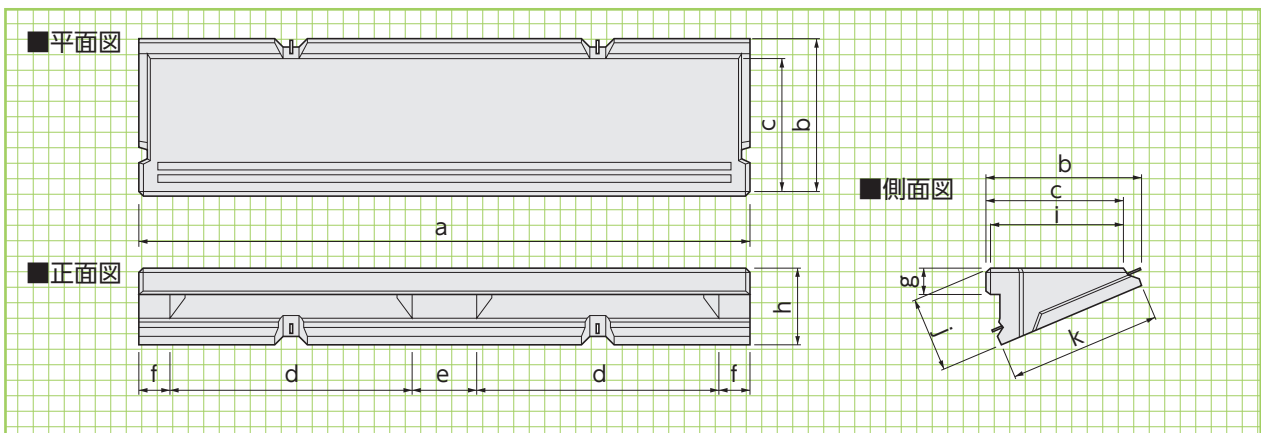
## ●特長

- 1.現場打ち階段工に比べて施工性、品質、外観などが優れ既存の大型護岸ブロックと併用して配列できます。
- 2.掃流力に抗する安定した重量をもち階段を構成する踏面とその支持脚は適度な粗度となって水流の減勢効果に役立ちます。
- 3.人が容易にかつ安全に昇降できるように十分配慮し蹴上がり踏面を設計しています。



## 基本形状図

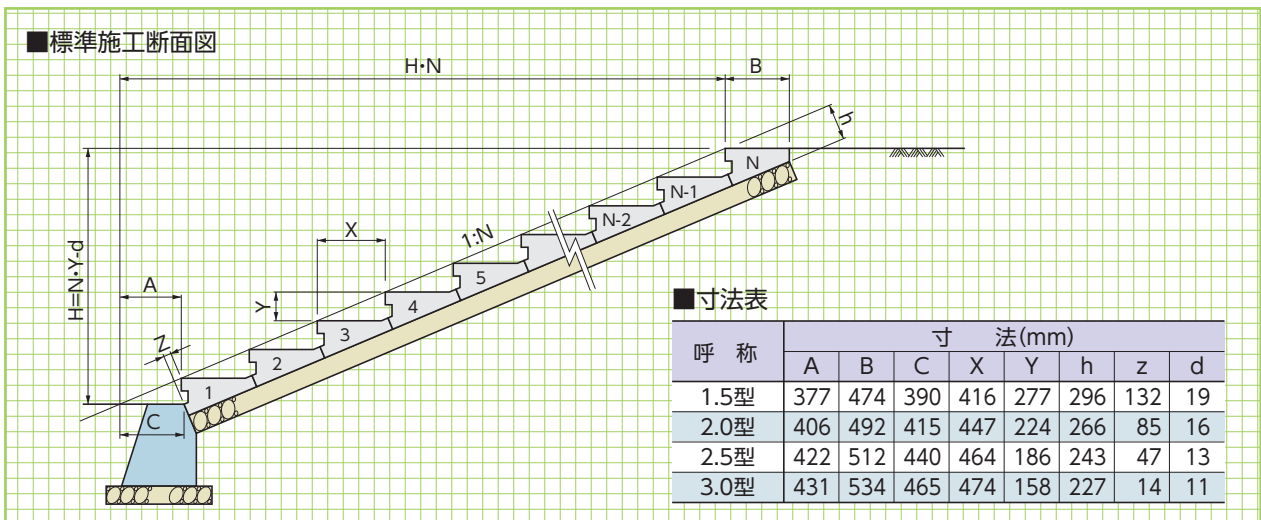
形状・寸法  
重量表



## ■寸法・重量表

呼称		寸法(mm)											体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k		
1.5型	A形	1995	471	400	797.5	200	100	80	324	390	296	495	0.1380	317
	B形	998	471	400	798	-	100	80	324	390	296	495	0.0679	156
2.0型	A形	1995	490	425	797.5	200	100	80	278	415	266	495	0.1362	313
	B形	998	490	425	798	-	100	80	278	415	266	495	0.0671	154
2.5型	A形	1995	510	450	797.5	200	100	80	246	440	243	495	0.1333	306
	B形	998	510	450	798	-	100	80	246	440	243	495	0.0658	151
3.0型	A形	1995	531	475	797.5	200	100	80	222	465	227	495	0.1330	305
	B形	998	531	475	798	-	100	80	222	465	227	495	0.0656	150

## 標準断面図

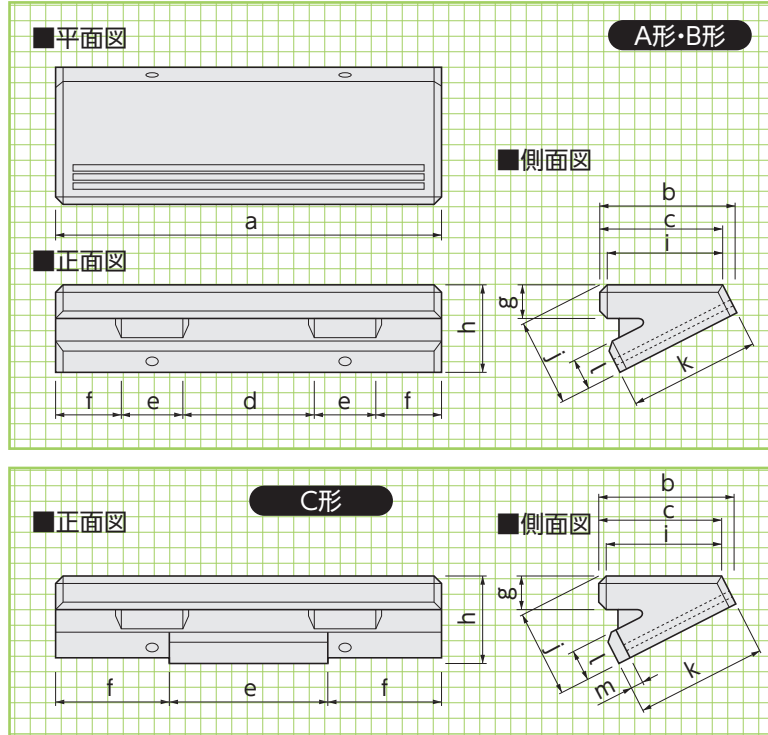


## ■寸法表

呼称	寸法(mm)							
	A	B	C	X	Y	h	z	d
1.5型	377	474	390	416	277	296	132	19
2.0型	406	492	415	447	224	266	85	16
2.5型	422	512	440	464	186	243	47	13
3.0型	431	534	465	474	158	227	14	11

# ステップブロック (連結タイプ)

NETIS掲載終了  
CB-070043-V



基本形状図

形状・寸法  
重量

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

貯水槽関連

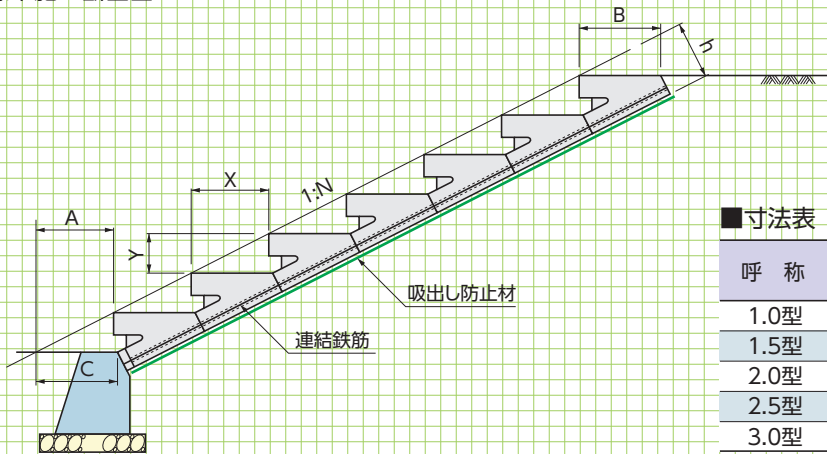
景観関連

その他

■寸法・重量表

呼称	寸法(mm)														体積 (m <sup>3</sup> )	参考重量 (kg)
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m			
1.0型	A形	1200	374	303	400	200	200	100	354	283	300	400	100	-	0.0812	186
	B形	600	374	303	-	200	200	100	354	283	300	400	100	-	0.0405	93
	C形	1200	374	303	-	500	350	100	354	283	300	400	100	40	0.0785	180
1.5型	A形	1200	408	353	400	200	200	100	305	333	285	400	100	-	0.0825	189
	B形	600	408	353	-	200	200	100	305	333	285	400	100	-	0.0411	94
	C形	1200	408	353	-	500	350	100	305	333	285	400	100	40	0.0791	181
2.0型	A形	1200	423	378	400	200	200	100	268	358	260	400	100	-	0.0809	186
	B形	600	423	378	-	200	200	100	268	358	260	400	100	-	0.0403	92
	C形	1200	423	378	-	500	350	100	268	358	260	400	100	40	0.0781	179
2.5型	A形	1200	429	392	400	200	200	100	241	372	238	400	100	-	0.0789	181
	B形	600	429	392	-	200	200	100	241	372	238	400	100	-	0.0394	90
	C形	1200	429	392	-	500	350	100	241	372	238	400	100	40	0.0763	175
3.0型	A形	1200	432	400	-	-	-	100	221	380	220	400	100	-	0.0759	174
	B形	600	432	400	-	-	-	100	221	380	220	400	100	-	0.0378	86
	C形	1200	432	400	-	500	350	100	221	380	220	400	100	40	0.0734	168

■標準施工断面図



■寸法表

呼称	寸法(mm)					
	A	B	C	h	X	Y
1.0型	263	374	283	300	283	283
1.5型	313	408	333	285	333	222
2.0型	338	423	358	260	358	179
2.5型	351	429	371	238	371	149
3.0型	360	431	380	220	380	127

標準断面図



## ステイビーⅡ型

### ●特長

1. 踏み板表面の滑り止めは砂を考慮して凸部になっています。
2. 踏み板部の前面、及び脚部は、アーチ形状で柔らかみのある外観となっています。
3. 連結はカップルジョイント方式とし、強固で施工性の高い構造となっています。
4. ブロックの空洞部は、魚類や小動物にとって良好な生息空間を提供します。

### ■用途

1. 河川・公園・グラウンド施設の昇降用



基本形状図  
300型  
400型

標準敷設図

形状・寸法  
重量

300型・400型

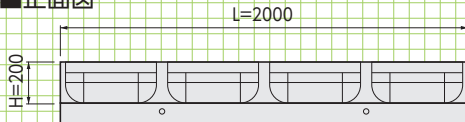
参考重量=265(335)kg

※( )内は400型を示します。 ※端部用L=1000もございます

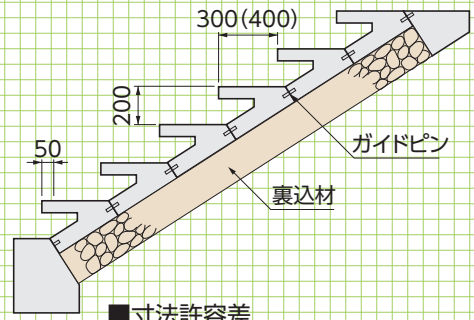
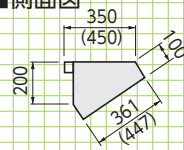
### ■平面図



### ■正面図



### ■側面図



### ■寸法許容差

	L	H	B
許容差	±5	±3	±3

## ボトルユニット〈袋型根固め工法袋材〉

建技  
審証

NETIS掲載終了  
KT-000028-VE

NNTD  
1200

ボトルユニットは、再生ペットボトルから生まれた繊維「エコペット®」を使用した袋材です。

軽量で耐久性に優れた地球環境に配慮した製品です。

河川護岸の根固め工・橋脚などの根固め工・緊急時の水防資材としてお使いいただけます。

※「エコペット®」は帝人ファイバー株式会社の商標登録です。

袋型根固め用袋材性能規定適合品  
国交省性能規定適合品



再生PET繊維50%以上  
エコマーク認定番号  
第04105029号

建設技術審査証明  
(土木系材料・製品・技術・道路保全技術)  
(一財)土木研究センター  
建技審証第0109号  
(有効期限:2026.12.17)  
※本審査証明は前田工織株式会社に  
交付されたものです。

### ●特長

1. 素材は全て化学繊維を使用。錆びによる劣化は生じません。
2. ラッセル網2重構造ネットを採用しているため、数ヶ所破断しても中詰材が抜け出しにくい構造および目合を有する袋材です。
3. 根固め工に必要な可とう性があるため、河床変動への追従性があります。間詰め工に必要な空隙へのなじみも十分併せ持っています。
4. 中詰め材には、現地発生材(玉石、割栗石、割石)及びコンクリート塊などを使用します。
5. 中詰め作業、敷設作業とも機械施工が主体となります。専門工、熟練工が不用であるため作業速度の向上が図れ、その結果、施工期間の短縮が可能となります。





# ハイパーマット多段積み型 〈省力化かご工法〉

NETIS掲載終了  
CG-110022-VE

NNTD  
1125

宮崎県  
新技術

従来から使用されているふとんかごの耐久性や強度を改良した階段積のかご工法です。ふとんかごは自立性が無いため、施工性と出来形精度が課題となっていました。ハイパーマットを使用することでこれらの問題が解決されます。

製造元

共和ハーモテック株式会社

NEXCO総研  
新技術情報システム登録技術

## ●特長

### 1.施工性

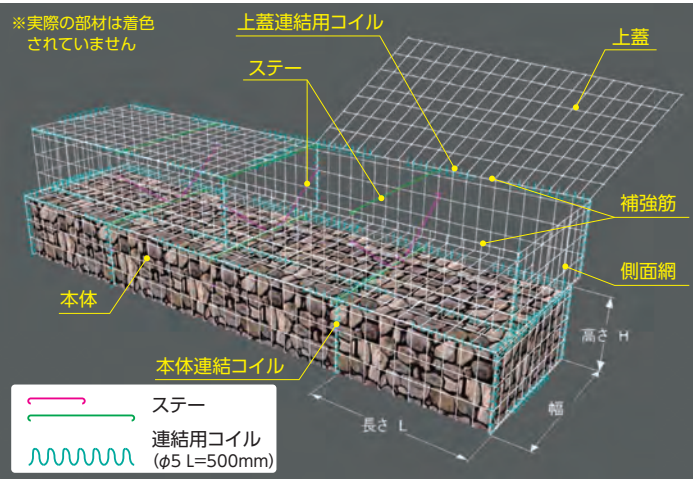
金網は製造工場でU字型に加工しており、現場での組立工程を簡略化。剛性が高く、組立時の仮設補強が不要で、工程短縮と工費縮減を実現。延長方向は連続一体構造のため石詰めが容易。

### 2.耐久性

金網部に「亜鉛アルミ合金先めっき溶接金網」を採用したことにより長期耐久性を実現しました。

### 3.強度

金網に引張強さ540N/mm<sup>2</sup>※以上を有するφ6mm線φ5mm線を使用した事により、適用範囲が拡大しました。



## ■寸法表

形式	寸法 (mm)		
	高さH	幅B	長さL
100型	500	1000	2000
120型	500	1200	2000

※端部用のL=1000もご用意しております。

## ■部材規格

呼称	寸法 (mm)	備考
本体・側面網	φ5×100×150	亜鉛アルミ合金
上蓋	φ5×100×150	先メッキ溶接金網
補強筋	φ6	
ステー	φ6	亜鉛アルミ合金 メッキ鉄線
連結コイル	φ5	

※製品改良の為、製品形状及び仕様は予告なく変更する場合があります。



側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

基本形状図

形状・寸法  
重量

河川関連

基礎類

貯水槽関連

施工写真

景観関連

その他